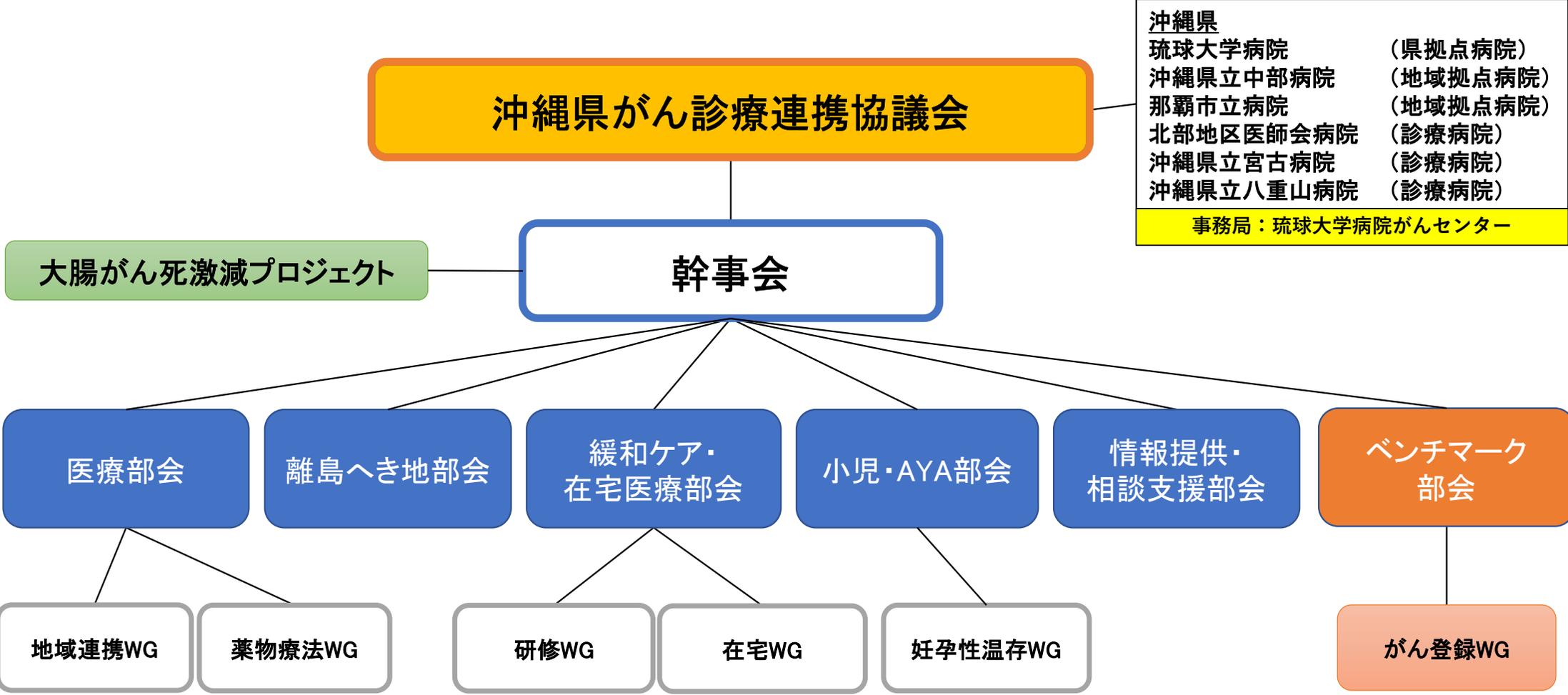


沖縄県がん診療連携協議会組織図



【専門部会と計画との分野対応図】

＜国がん基本計画(第3期)＞

＜担当専門部会＞

ベンチマーク部会

医療部会

緩和ケア・在宅医療部会

小児・AYA部会

離島・へき地部会

情報提供・相談支援部会

＜第3次沖縄県計画＞

- 1 がんの予防（1次予防）
- 2 がんの早期発見・検診（2次予防）
- 3 がん医療と人材育成
- 4 医療提供体制
- 5 在宅医療
- 6 緩和ケア
- 7 ライフステージに応じたがん対策
- 8 それぞれのがんの特性に応じた対策
- 9 離島及びへき地対策
- 10 相談支援と情報提供
- 11 がん患者等の就労を含めた社会的な問題
- 12 がんの教育・普及啓発
- 13 モニタリング体制の充実（「がん登録」を含む）
- 14 がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

- 1 (1) がんの1次予防
- 1 (2) がんの早期発見、がん検診（2次予防）
- 2 (1) がんゲノム医療
- 2 (2) がんの手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法の充実
- 2 (3) チーム医療の推進
- 2 (4) がんのリハビリテーション
- 2 (5) 支持療法の推進
- 2 (6) 希少がん、難治性がん対策
- 2 (7) 小児がん、AYA世代のがん、高齢者のがん対策
- 2 (8) 病理診断
- 2 (9) がん登録
- 2 (10) 医薬品・医療機器の早期開発・承認等に向けた取組
- 3 (1) がんと診断された時からの緩和ケアの推進
- 3 (2) 相談支援、情報提供
- 3 (3) 社会連携に基づくがん対策・がん患者支援（病院連携部分）
- 3 (3) 社会連携に基づくがん対策・がん患者支援（在宅部分）
- 3 (4) がん患者等の就労を含めた社会的な問題
- 3 (5) ライフステージに応じたがん対策
- 4 (1) がん研究
- 4 (2) 人材育成
- 4 (3) がん教育、がんに関する知識の普及啓発
- 第3 がん対策を総合的かつ計画的に推進

第3期がん対策推進基本計画(概要)

第1 全体目標

「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す。」

①科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 ②患者本位のがん医療の実現 ③尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

第2 分野別施策

1. がん予防

- (1)がんの1次予防(※)
- (2)がんの早期発見、がん検診(2次予防)

(※)受動喫煙に関する目標値等については、受動喫煙対策に係る法案を踏まえて別途閣議決定する予定。

2. がん医療の充実

- (1)がんゲノム医療
- (2)がんの手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法
- (3)チーム医療
- (4)がんのリハビリテーション
- (5)支持療法
- (6)希少がん、難治性がん(それぞれのがんの特性に応じた対策)
- (7)小児がん、AYA(※)世代のがん、高齢者のがん(※)Adolescent and Young Adult: 思春期と若年成人
- (8)病理診断
- (9)がん登録
- (10)医薬品・医療機器の早期開発・承認等に向けた取組

3. がんとの共生

- (1)がんと診断された時からの緩和ケア
- (2)相談支援、情報提供
- (3)社会連携に基づくがん対策・がん患者支援
- (4)がん患者等の就労を含めた社会的な問題
- (5)ライフステージに応じたがん対策

4. これらを支える基盤の整備

- (1)がん研究
- (2)人材育成
- (3)がん教育、普及啓発

第3 がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

- 1. 関係者等の連携協力の更なる強化
- 2. 都道府県による計画の策定
- 3. がん患者を含めた国民の努力
- 4. 患者団体等との協力
- 5. 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化
- 6. 目標の達成状況の把握
- 7. 基本計画の見直し

第3次がん対策推進計画(2018-2023) 概要

1 計画策定の趣旨

生活習慣の改善やがん検診の受診勧奨を始めとするがんの予防・早期発見対策や、がん診療連携拠点病院等を中心とした専門的ながん医療の提供、がん患者等に対する相談支援体制の整備を図るなど、総合的かつ計画的にがん対策を推進するため、第3次沖縄県がん対策推進計画(2018-2023)を策定。

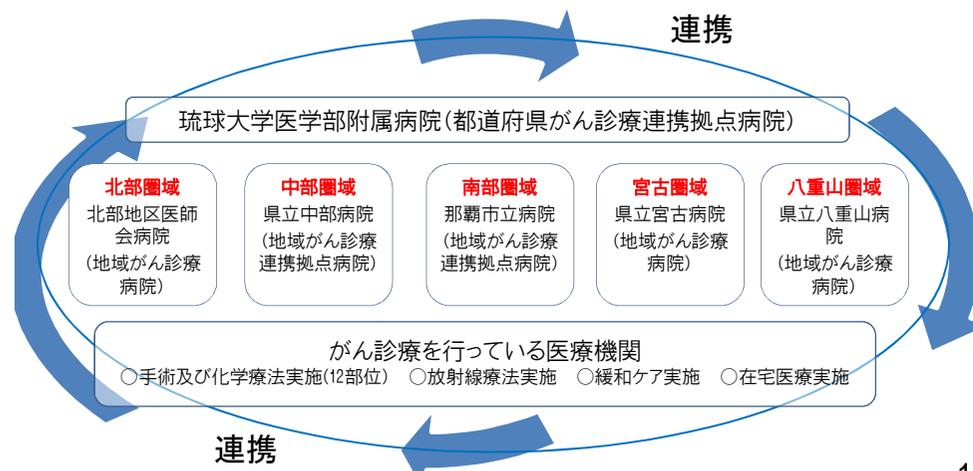
2 計画の位置づけ

- がん対策基本法第12条に基づく「都道府県がん対策推進計画」。
- 「沖縄21世紀ビジョン基本計画・実施計画」の個別計画として、基本計画及び実施計画で掲げる施策展開を図る。
- 関係個別計画等と整合するがん対策の推進に関する計画。
 - ・沖縄県医療計画 ・健康おきなわ21 ・沖縄県高齢者保健福祉計画
- 県の今後のがん対策の基本的な施策を示すもの。
- 市町村のがん対策の行政施策の指針となるもの。
- 県民、保健医療団体等には、その自主的な活動、行動を推進する役割。
- 計画期間は、2018年から2023年までの6年間。
- がん医療を取り巻く環境に著しい変化が生じた場合は、内容を見直す。

3 進行管理

- 計画の進捗管理に関するPDCAサイクルを回し、施策に反映。
- 計画の進捗管理のため、3年を目途に中間評価を行う。

がん診療連携体制



4 がん対策推進計画の主な項目

第1章 全体目標

- 1 科学的根拠に基づく、がん予防・がん検診の充実
- 2 患者本位のがん医療の実現
- 3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

75歳未満年齢調整死亡率 (人口10万人あたり)			
	現状	目標	差
男女	73.3	65.0	8.3

第2章 分野別施策

- 1 科学的根拠に基づく、がん予防・がん検診の充実
 - (1)がんの予防
 - (2)がんの早期発見、がん検診
- 2 患者本位のがん医療の実現
 - (1)がん医療と人材育成
 - (2)医療提供体制
 - (3)在宅医療
 - (4)がんと診断された時からの緩和ケア
 - (5)ライフステージに応じたがん対策
 - (6)希少がん、難治性がん(それぞれの特性に応じた対策)
 - (7)離島及びへき地対策
- 3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築
 - (1)相談支援、情報提供
 - (2)がん患者等の就労を含めた社会的な問題
 - (3)がんの教育、普及啓発

喫煙率		
	現状	目標
男	29.6	半減
女	7.8	

がん検診受診率		
	現状	目標
胃	41.4	50%
大腸	35.6	
肺	43.6	
子宮	47.5	
乳	50.7	



第3章 総合的かつ計画的に推進するための必要事項

- 1 がん登録について
- 2 計画の進捗管理体制について

○沖縄県、秋田県医療者アンケート一覧

設問番号	【沖縄県】	【秋田県】
1	あなたの職種をお答えください。 1.医師 2.看護師 3.薬剤師 4.ソーシャルワーカー 5.その他	問1 同左
2	あなたの性別をお答えください。 1.男性 2.女性	問2 同左
3	あなたの年齢をお答えください。 1.20歳～29歳 2.30歳～39歳 3.40歳～49歳 4.50歳～59歳 5.60歳～64歳 6.65歳以上	問3 同左
4	あなたの施設の医療圏域をお答えください。 1.北部医療圏 2.中部医療圏 3.南部医療圏 4.八重山医療圏 5.宮古医療圏	あなたの施設の医療圏域をお答えください。 1.大館・鹿角医療圏 2.北秋田医療圏 3.能代・山本医療圏 4.秋田周辺医療圏 5.由利本荘・にかほ医療圏 6.大仙・仙北医療圏 7.横手医療圏 8.湯沢・雄勝医療圏
5	異職種間で自由に意見できる雰囲気ですか？ 1.そう思う 2.ややそう思う 3.あまりそう思わない 4.そう思わない	問5 同左
6	医師は必要な情報を医療スタッフ(orあなた)と共有していると思いますか？ 1.そう思う 2.ややそう思う 3.あまりそう思わない 4.そう思わない	問6 同左

7	<p>あなたは、必要に応じて自分の職種以外の役割を、補いつつ仕事をするようつとめていていると思いますか？</p> <p>1.そう思う 2.ややそう思う 3.あまりそう思わない 4.そう思わない</p>	問7同左
8	<p>あなたの担当するがん患者で、治療方針(告知等)の説明の際に、医師以外の職種も参加している割合は何%ぐらいですか。</p> <p>1.100% 2.75%以上100%未満 3.50%以上75%未満 4.25%以上50%未満 5.25%未満</p>	問8同左
9	<p>がん医療を行っていくうえで、他の医療機関との連携に困惑感があると思いますか？</p> <p>1.よくある 2.ときどきある 3.あまりない 4.まったくない</p>	問9同左
10	<p>専門医療機関に対してがん患者を紹介したときに受け入れてもらえますか？</p> <p>1.受け入れてくれる(断られることはめったにない) 2.たいてい受け入れてくれる(たまに断られる) 3.どちらかというとな断られるほうが多い 4.ほとんど断られる</p>	問10同左
11	<p>他院へがん患者を紹介した際に、その後の経過について紹介先医療機関から情報提供がありますか？</p> <p>1.いつも十分ある 2.たいていは十分ある 3.たいてい不足している 4.いつも不足している 5.気にしていない</p>	問11同左
12	<p>他院からがん患者が紹介されてきた際に、その後の診療を継続するのに患者にとって十分な情報が紹介元医療機関から提供されていますか？</p> <p>1.いつも十分ある 2.たいていは十分ある 3.たいてい不足している 4.いつも不足している 5.気にしていない</p>	問12同左

13	より専門的な医療機関へがん患者を紹介するときに、どの医療機関を紹介するかを決めるための情報が足りないと感じることはありますか？ 1.かなりある 2.ややある 3.あまりない 4.まったくない	問13同左
14	がん患者を定期的なフォローアップのために紹介うるときに、どの医療機関を紹介するかを決めるための情報が足りないと感じることはありますか？ 1.かなりある 2.ややある 3.あまりない 4.まったくない	問14同左
15	がん診療連携拠点病院、がん診療病院、がん診療連携支援病院についてお尋ねします。	問15同左
①	都道府県がん診療連携拠点病院である琉球大学医学部附属病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？ 1.そう思う 2.ややそう思う 3.あまりそう思わない 4.そう思わない	都道府県がん診療連携拠点病院である秋田大学医学部附属病院
②	地域がん診療連携拠点病院である那覇市立病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？ 1.そう思う 2.ややそう思う 3.あまりそう思わない 4.そう思わない	地域がん診療連携拠点病院 ②大館市立総合病院 ③秋田厚生医療センター ④秋田赤十字病院
③	地域がん診療連携拠点病院である沖縄県立中部病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？ 1.そう思う 2.ややそう思う 3.あまりそう思わない 4.そう思わない	
④	地域がん診療病院である沖縄県立宮古病院は、がん診療病院の指定要件に示された役割を担っていると思いますか？ 1.そう思う 2.ややそう思う 3.あまりそう思わない 4.そう思わない	地域がん診療病院 ⑤大曲厚生医療センター ⑥平鹿総合病院 ⑦能代厚生医療センター ⑧由利組合総合病院 ⑨雄勝中央病院 ⑩北秋田市民病院

⑤	<p>北部地区医師会病院は、がん診療連携支援病院の役割を十分に担っていると思いますか？</p> <p>1.そう思う 2.ややそう思う 3.あまりそう思わない 4.そう思うわない</p>	<p>がん診療連携推進病院 ①市立秋田総合病院 ②中通総合病院</p>
⑥	<p>沖縄県立八重山病院は、がん診療連携支援病院の役割を十分に担っていると思いますか？</p> <p>1.そう思う 2.ややそう思う 3.あまりそう思わない 4.そう思わない</p>	
⑦/⑬	<p>都道府県がん診療連携拠点病院である琉球大学医学部附属病院は、県内のがん診療の連携体制の整備構築の役割を十分に担っていると思いますか？</p> <p>1.そう思う 2.ややそう思う 3.あまりそう思わない 4.そう思わない</p>	<p>都道府県がん診療連携拠点病院である秋田大学医学部附属病院 他同左</p>
16	<p>沖縄県でがん医療を提供するとき、専門医の不足を感じることはどの程度ありますか？</p> <p>1.かなりある 2.ややある 3.あまりない 4.まったくない</p>	問16同左
17	<p>沖縄県でがん医療を提供するとき、医師以外の専門的な医療従事者(がん化学療法看護認定看護師、緩和ケア認定看護師、がん薬物療法認定薬剤師、など)の不足を感じることはどの程度ありますか？</p> <p>1.かなりある 2.ややある 3.あまりない 4.まったくない</p>	問17同左
18	<p>あなたは、がん患者の話に耳を傾け、患者が置かれている状況を踏まえ対応していると思いますか？</p> <p>1.いつも対応している 2.たいてい対応している 3.対応していないほうが多い 4.ほとんど対応していない</p>	問18同左
19	<p>あなたの施設では、緩和ケアのレベルが3年前と比較して向上したと思いますか？</p> <p>1.そう思う 2.ややそう思う 3.あまりそう思わない</p>	問19同左

20	<p>あなたの施設では、がん患者に対する意思決定支援が実践されていますか？</p> <p>1.十分実践されている 2.ある程度実践されている 3.あまり実践されていない 4.まったく実践されていない</p>	問20同左
21	<p>あなたの担当するがん患者で、精神的痛みを含む痛みの評価を何%ぐらいの患者に実践していますか？</p> <p>1.100% 2.75%以上100%未満 3.50%以上75%未満 4.25%以上50%未満 5.25%未満</p>	問21同左
22	<p>離島に居住しているがん患者が、適切んば医療を受けていると思いますか？</p> <p>1.そう思う 2.ややそう思う 3.あまりそう思わない 4.そう思わない</p>	問22同左
23	<p>現在離島でがん医療に従事している方、または過去に離島でがん医療に従事した方にお聞きします。離島に居住しているがん患者のうち、より専門的な医療機関へ紹介したい場合、大きな支障なく紹介できた症例は何%ぐらいですか？</p> <p>1.100% 2.75%以上100%未満 3.50%以上75%未満 4.25%以上50%未満 5.25%未満</p>	設問無し
24	<p>現在本島でがん医療に従事している方、または過去に本島でがん医療に従事した方にお聞きします。離島に居住しているがん患者のフォローアップのために、地元の医療機関へ紹介したい場合、大きな支障なく紹介できた症例は何%ぐらいですか？</p> <p>1.100% 2.75%以上100%未満 3.50%以上75%未満 4.25%以上50%未満 5.25%未満</p>	設問無し
25	<p>あなたの担当するがん患者で、在宅医療を希望された患者のうち、在宅医療に移行した症例は何%ぐらいですか？</p> <p>1. 100% 2. 75%以上100%未満 3. 50%以上75%未満 4. 25%以上50%未満 5. 25%未満</p>	問25同左

26	<p>医師ががん患者とその家族に、治療の説明など必要な説明と情報を提供していますか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.いつもしている 2.たいていしている 3.していないほうが多い 4.ほとんどしていない 	問26同左
27	<p>医師以外の医療スタッフの方にお聞きします。がん患者のケアに関して、自分の意見を医師に対して自由に言えますか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.言える 2.ときどき言える 3.あまり言えない 4.言えない 	問27同左
28	<p>医師の方にお聞きします。他の医療スタッフの話に耳を傾けていますか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.そう思う 2.ややそう思う 3.あまりそう思わない 4.そう思わない 	問28同左

アンケート「医療者のみなさまへ」の集計結果一覧

1. 調査時期

2015年11月～2015年12月

2. 調査方法

がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、沖縄県がん診療連携支援病院、専門医療機関の計20施設*の協力を得て、これら施設の医療者 2724 名に対して、アンケート調査を実施しました。

*調査協力医療機関 20 施設は次のとおりです。

琉球大学医学部附属病院、沖縄県立中部病院、那覇市立病院、沖縄県立宮古病院、北部地区医師会病院、沖縄県立八重山病院、中部徳洲会病院、中頭病院、ハートライフ病院、沖縄病院、浦添総合病院、沖縄赤十字病院、南部医療センター・こども医療センター、豊見城中央病院、南部徳洲会病院、ちばなクリニック、Dr.久高のマンマ家クリニック、宮良クリニック、那覇西クリニック、那覇西クリニックまかび

3. 回収率

アンケートの回収率は 75.7%でした。

4. 集計結果一覧

問1. あなたの職種をお答えください。

	観察数	(%)
医師	400	(19.4)
看護師	1276	(61.9)
薬剤師	164	(8.0)
ソーシャルワーカー	73	(3.5)
その他	149	(7.2)
計	2062	(100.0)

問2. あなたの性別をお答えください。

	観察数	(%)
男性	628	(30.5)
女性	1433	(69.5)
回答なし	1	(0.1)
計	2062	(100.0)

問3. あなたの年齢をお答えください

	観察数	(%)
20歳～29歳	496	(24.1)
30歳～39歳	695	(33.7)
40歳～49歳	559	(27.1)
50歳～59歳	269	(13.1)
60歳～64歳	29	(1.4)
65歳以上	11	(0.5)
回答なし	3	(0.2)
計	2062	(100.0)

問4. あなたの施設の医療圏域をお答えください。

	観察数	(%)
北部医療圏	102	(5.0)
中部医療圏	731	(35.5)
南部医療圏	1023	(49.6)
八重山医療圏	86	(4.2)
宮古医療圏	120	(5.8)
計	2062	(100.0)

問5. 異職種間で自由に意見できる雰囲気ですか？

	観察数	(%)
そう思う	536	(26.0)
ややそう思う	1090	(52.9)
あまりそう思わない	381	(18.5)
そう思わない	34	(1.7)
回答なし	21	(1.0)
計	2062	(100.0)

問6. 医師は必要な情報を医療スタッフ（or あなた）と共有していると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	305	(14.8)
ややそう思う	1215	(58.9)
あまりそう思わない	489	(23.7)
そう思わない	37	(1.8)
回答なし	16	(0.8)
計	2062	(100.0)

問7. あなたは、必要に応じて自分の職種以外の役割を、補いつつ仕事をするようつとめていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	381	(18.5)
ややそう思う	1230	(59.7)
あまりそう思わない	409	(19.8)
そう思わない	23	(1.1)
回答なし	19	(0.9)
計	2062	(100.0)

問8. あなたの担当するがん患者で、治療方針（告知等）の説明の際に、医師以外の職種も参加している割合は何%ぐらいですか。

	観察数	(%)
100%	177	(8.6)
75%以上 100%未満	506	(24.5)
50%以上 75%未満	531	(25.8)
25%以上 50%未満	347	(16.8)
25%未満	325	(15.8)
回答なし	176	(8.5)
計	2062	(100.0)

問9. がん医療を行っていくうえで、他の医療機関との連携に困難感があると思いますか？

	観察数	(%)
よくある	137	(6.6)
ときどきある	1166	(56.6)
あまりない	602	(29.2)
まったくない	24	(1.2)
回答なし	133	(6.5)
計	2062	(100.0)

問 10. 専門医療機関に対してがん患者を紹介したときに受け入れてもらえますか？

	観察数	(%)
受け入れてくれる（断られることはめったにない）	504	(24.4)
たいてい受け入れてくれる（たまに断られる）	1139	(55.2)
どちらかという断られるほうが多い	85	(4.1)
ほとんど断られる	9	(0.4)
回答なし	325	(15.8)
計	2062	(100.0)

問 11. 他院へがん患者を紹介した際に、その後の経過について紹介先医療機関からの情報提供がありますか？

	観察数	(%)
いつも十分ある	81	(3.9)
たいていは十分ある	867	(42.1)
たいてい不足している	439	(21.3)
いつも不足している	153	(7.4)
気にしていない	242	(11.7)
回答なし	280	(13.6)
計	2062	(100.0)

問 12. 他院からがん患者が紹介されてきた際に、その後の診療を継続するのに患者にとって十分な情報が紹介元医療機関から提供されていますか？

	観察数	(%)
いつも十分ある	60	(2.9)
たいていは十分ある	1307	(63.4)
たいてい不足している	374	(18.1)
いつも不足している	26	(1.3)
気にしていない	99	(4.8)
回答なし	196	(9.5)
計	2062	(100.0)

問 13. より専門的な医療機関へがん患者を紹介するときに、どの医療機関に紹介するかを決めるための情報が足りないと感じることはありますか？

	観察数	(%)
かなりある	102	(5.0)
ややある	1060	(51.4)
あまりない	610	(29.6)
まったくない	33	(1.6)
回答なし	257	(12.5)
計	2062	(100.0)

問 14. がん患者を定期的なフォローアップのために紹介するときに、どの医療機関に紹介するかを決めるための情報が足りないと感じることはありますか？

	観察数	(%)
かなりある	137	(6.6)
ややある	1039	(50.4)
あまりない	575	(27.9)
まったくない	44	(2.1)
回答なし	267	(13.0)
計	2062	(100.0)

問 15. がん診療連携拠点病院、がん診療病院、がん診療連携支援病院についてお尋ねします。

①都道府県がん診療連携拠点病院である琉球大学医学部附属病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	217	(10.5)
ややそう思う	1016	(49.3)
あまりそう思わない	477	(23.1)
そう思わない	64	(3.1)
回答なし	288	(14.0)
計	2062	(100.0)

②地域がん診療連携拠点病院である那覇市立病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	179	(8.7)
ややそう思う	1050	(50.9)
あまりそう思わない	450	(21.8)
そう思わない	33	(1.6)
回答なし	350	(17.0)
計	2062	(100.0)

③地域がん診療連携拠点病院である沖縄県立中部病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	182	(8.8)
ややそう思う	1052	(51.0)
あまりそう思わない	420	(20.4)
そう思わない	45	(2.2)
回答なし	363	(17.6)
計	2062	(100.0)

④地域がん診療病院である沖縄県立宮古病院は、がん診療病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	116	(5.6)
ややそう思う	888	(43.1)
あまりそう思わない	560	(27.2)
そう思わない	65	(3.2)
回答なし	433	(21.0)
計	2062	(100.0)

⑤北部地区医師会病院は、がん診療連携支援病院の役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	100	(4.9)
ややそう思う	844	(40.9)
あまりそう思わない	597	(29.0)
そう思わない	84	(4.1)
回答なし	437	(21.2)
計	2062	(100.0)

⑥沖縄県立八重山病院は、がん診療連携支援病院の役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	110	(5.3)
ややそう思う	855	(41.5)
あまりそう思わない	577	(28.0)
そう思わない	74	(3.6)
回答なし	446	(21.6)
計	2062	(100.0)

⑦都道府県がん診療連携拠点病院である琉球大学医学部附属病院は、県内のがん診療の連携体制の整備構築の役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	156	(7.6)
ややそう思う	933	(45.3)
あまりそう思わない	556	(27.0)
そう思わない	79	(3.8)
回答なし	338	(16.4)
計	2062	(100.0)

問 16. 沖縄県でがん医療を提供するとき、専門医の不足を感じることはどの程度ありますか？

	観察数	(%)
かなりある	410	(19.9)
ややある	1093	(53.0)
あまりない	358	(17.4)
まったくない	23	(1.1)
回答なし	178	(8.6)
計	2062	(100.0)

問 17. 沖縄県でがん医療を提供するとき、医師以外の専門的な医療従事者（がん化学療法看護認定看護師、緩和ケア認定看護師、がん薬物療法認定薬剤師、など）の不足を感じることはどの程度ありますか？

	観察数	(%)
かなりある	581	(28.2)
ややある	1079	(52.3)
あまりない	254	(12.3)
まったくない	25	(1.2)
回答なし	123	(6.0)
計	2062	(100.0)

問 18. あなたは、がん患者の話に耳を傾け、患者が置かれている状況を踏まえ対応していると思いますか？

	観察数	(%)
いつも対応している	167	(8.1)
たいてい対応している	1450	(70.3)
対応していないほうが多い	310	(15.0)
ほとんど対応していない	38	(1.8)
回答なし	97	(4.7)
計	2062	(100.0)

問 19. あなたの施設では、緩和ケアのレベルが3年前と比較して向上したと思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	325	(15.8)
ややそう思う	989	(48.0)
あまりそう思わない	450	(21.8)
そう思わない	76	(3.7)
回答なし	222	(10.8)
計	2062	(100.0)

問 20. あなたの施設では、がん患者に対する意思決定支援が実践されていますか？

	観察数	(%)
十分実践されている	151	(7.3)
ある程度実践されている	1382	(67.0)
あまり実践されていない	325	(15.8)
まったく実践されていない	19	(0.9)
回答なし	185	(9.0)
計	2062	(100.0)

問 21. あなたの担当するがん患者で、精神的痛みを含む痛みの評価を何%ぐらいの患者に実施していますか？

	観察数	(%)
100%	128	(6.2)
75%以上 100%未満	624	(30.3)
50%以上 75%未満	643	(31.2)
25%以上 50%未満	254	(12.3)
25%未満	148	(7.2)
回答なし	265	(12.9)
計	2062	(100.0)

問 22. 離島に居住しているがん患者が、適切な医療を受けていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	45	(2.2)
ややそう思う	538	(26.1)
あまりそう思わない	1109	(53.8)
そう思わない	183	(8.9)
回答なし	187	(9.1)
計	2062	(100.0)

問 23. 現在離島でがん医療に従事している方、または過去に離島でがん医療に従事した方にお聞きします。離島に居住しているがん患者のうち、より専門的な医療機関へ紹介したい場合、大きな支障なく紹介できた症例は何%ぐらいですか？

	観察数	(%)
100%	12	(0.6)
75%以上 100%未満	123	(6.0)
50%以上 75%未満	170	(8.2)
25%以上 50%未満	82	(4.0)
25%未満	44	(2.1)
回答なし	1631	(79.1)
計	2062	(100.0)

問 24. 現在本島でがん医療に従事している方、または過去に本島でがん医療に従事した方にお聞きします。離島に居住しているがん患者のフォローアップのために、地元の医療機関へ紹介したい場合、大きな支障なく紹介できた症例は何%ぐらいですか？

	観察数	(%)
100%	50	(2.4)
75%以上 100%未満	293	(14.2)
50%以上 75%未満	398	(19.3)
25%以上 50%未満	193	(9.4)
25%未満	106	(5.1)
回答なし	1022	(49.6)
計	2062	(100.0)

問 25. あなたの担当するがん患者で、在宅医療を希望された患者のうち、在宅医療に移行した症例は何%ぐらいですか？

	観察数	(%)
100%	29	(1.4)
75%以上 100%未満	268	(13.0)
50%以上 75%未満	453	(22.0)
25%以上 50%未満	389	(18.9)
25%未満	487	(23.6)
回答なし	436	(21.1)
計	2062	(100.0)

問 26. 医師ががん患者とその家族に、治療の説明など必要な説明と情報を提供していますか？

	観察数	(%)
いつもしている	359	(17.4)
たいていしている	1309	(63.5)
していないほうが多い	180	(8.7)
ほとんどしていない	20	(1.0)
回答なし	194	(9.4)
計	2062	(100.0)

問 27. 医師以外の医療スタッフの方にお聞きします。

がん患者のケアに関して、自分の意見を医師に対して自由に言えますか？

	観察数	(%)
言える	246	(11.9)
ときどき言える	724	(35.1)
あまり言えない	516	(25.0)
言えない	80	(3.9)
回答なし	496	(24.1)
計	2062	(100.0)

問 28. 医師の方にお聞きします。

他の医療スタッフの話に耳を傾けていますか？

	観察数	(%)
そう思う	141	(6.9)
ややそう思う	229	(11.1)
あまりそう思わない	8	(0.4)
そう思わない	0	(0.0)
回答なし	1684	(81.7)
計	2062	(100.0)

医療者のみなさまへ

～沖縄県におけるがん医療をより充実させるため、ご協力をお願いします～

沖縄県では、平成25年4月に沖縄県がん対策推進計画（第2次）を策定し、県と市町村、保健医療関係者、県民、事業者、関係機関・団体等が一体となって、がんの予防、がんの早期発見、がん医療などのがん対策に取り組んでいます。今年度はこれら取り組みの評価を行う年です。

本アンケートは、沖縄県のがん医療をより充実させるため、国立大学法人琉球大学医学部附属病院が沖縄県からの依頼を受け実施することになりました。がん医療に携わっている医療者のみなさまに調査用紙をお送りしますので、大変お手数ですが、ご協力をお願いします。

このアンケートの回答は任意であり、回答しないことで不利益が生じることはありません。また、回答いただいた内容を調査の目的以外に使用することは一切ありません。

お手数をおかけし大変申し訳ございませんが、ご記入の上、平成27年12月11日（金）までにご記入のうえ、貴院のアンケート調査ご担当者様へお渡しください。

ご記入についてのお願い

がん医療についてお答えください。

- ◆アンケートは、医療者ご自身（医師・看護師・その他医療スタッフ）についてお伺いするものです。
- ◆設問の回答は、直接この調査票の該当する項目に、鉛筆またはボールペンで○をお付けください。

<調査票の返送について>

平成27年12月11日(金)までに、貴院のアンケート調査ご担当者様へお渡しください。
無記名調査ですので、調査票には住所・氏名を記入しないでください。

<この調査に関するお問い合わせ先>

調査受託先：琉球大学医学部附属病院 がんセンター
〒903-0215 沖縄県西原町字上原 207 番地
TEL：098-895-1374
※電話受付時間：平日 9：00～17：00

【質問スタートです】

あなたの考えや状況に近い回答を1つ選び、数字に「○」をお付けください。

問1. あなたの職種をお答えください。

1. 医師 2. 看護師 3. 薬剤師 4. ソーシャルワーカー 5. その他（_____）

問2. あなたの性別をお答えください。

1. 男性 2. 女性

問3. あなたの年齢をお答えください。

1. 20歳～29歳 2. 30歳～39歳 3. 40歳～49歳 4. 50歳～59歳
5. 60歳～64歳 6. 65歳以上

問4. あなたの施設の医療圏域をお答えください。

1. 北部医療圏 2. 中部医療圏 3. 南部医療圏 4. 八重山医療圏 5. 宮古医療圏

問5. 異職種間で自由に意見できる雰囲気ですか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問6. 医師は必要な情報を医療スタッフ（or あなた）と共有していると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問7. あなたは、必要に応じて自分の職種以外の役割を、補いつつ仕事をするようつとめていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問8. あなたの担当するがん患者で、治療方針（告知等）の説明の際に、医師以外の職種も参加している割合は何%ぐらいですか？

1. 100% 2. 75%以上100%未満 3. 50%以上75%未満 4. 25%以上50%未満 5. 25%未満

問9. がん医療を行っていくうえで、他の医療機関との連携に困難感があると思いますか？

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. まったくない

問10. 専門医療機関に対してがん患者を紹介したときに受け入れてもらえますか？

1. 受け入れてくれる（断られることはめったにない） 2. たいいてい受け入れてくれる（たまに断られる）
3. どちらかという断られるほうが多い 4. ほとんど断られる

問11. 他院へがん患者を紹介した際に、その後の経過について紹介先医療機関からの情報提供がありますか？

1. いつも十分ある 2. たいいていは十分ある 3. たいいてい不足している
4. いつも不足している 5. 気にしていない

問12. 他院からがん患者が紹介されてきた際に、その後の診療を継続するのに患者にとって十分な情報が紹介元医療機関から提供されていますか？

1. いつも十分ある 2. たいいていは十分ある 3. たいいてい不足している
4. いつも不足している 5. 気にしていない

問13. より専門的な医療機関へがん患者を紹介するときに、どの医療機関に紹介するかを決めるための情報が足りないと感じることはありますか？

1. かなりある 2. ややある 3. あまりない 4. まったくない

裏面に続きます

問 14. がん患者を定期的なフォローアップのために紹介するときに、どの医療機関を紹介するかを決めるための情報が足りないと感じることはありますか？

1. かなりある 2. ややある 3. あまりない 4. まったくない

問 15. がん診療連携拠点病院、がん診療病院、がん診療連携支援病院についてお尋ねします。

①都道府県がん診療連携拠点病院である琉球大学医学部附属病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

②地域がん診療連携拠点病院である那覇市立病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

③地域がん診療連携拠点病院である沖縄県立中部病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いませんか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

④地域がん診療病院である沖縄県立宮古病院は、がん診療病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑤北部地区医師会病院は、がん診療連携支援病院の役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑥沖縄県立八重山病院は、がん診療連携支援病院の役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑦都道府県がん診療連携拠点病院である琉球大学医学部附属病院は、県内のがん診療の連携体制の整備構築の役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 16. 沖縄県でがん医療を提供するとき、専門医の不足を感じることはどの程度ありますか？

1. かなりある 2. ややある 3. あまりない 4. まったくない

問 17. 沖縄県でがん医療を提供するとき、医師以外の専門的な医療従事者(がん化学療法看護認定看護師、緩和ケア認定看護師、がん薬物療法認定薬剤師、など)の不足を感じることはどの程度ありますか？

1. かなりある 2. ややある 3. あまりない 4. まったくない

問 18. あなたは、がん患者の話に耳を傾け、患者が置かれている状況を踏まえ対応していると思いますか？

1. いつも対応している 2. たいてい対応している
3. 対応していないほうが多い 4. ほとんど対応していない

問 19. あなたの施設では、緩和ケアのレベルが3年前と比較して向上したと思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 20. あなたの施設では、がん患者に対する意思決定支援が実践されていますか？

1. 十分実践されている 2. ある程度実践されている 3. あまり実践されていない
4. まったく実践されていない

問 21. あなたの担当するがん患者で、精神的痛みを含む痛みの評価を何%ぐらいの患者に実施していますか？

1. 100% 2. 75%以上100%未満 3. 50%以上75%未満 4. 25%以上50%未満 5. 25%未満

問 22. 離島に居住しているがん患者が、適切な医療を受けていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 23. 現在離島でがん医療に従事している方、または過去に離島でがん医療に従事した方にお聞きします。離島に居住しているがん患者のうち、より専門的な医療機関へ紹介したい場合、大きな支障なく紹介できた症例は何%ぐらいですか？

1. 100% 2. 75%以上100%未満 3. 50%以上75%未満 4. 25%以上50%未満 5. 25%未満

問 24. 現在本島でがん医療に従事している方、または過去に本島でがん医療に従事した方にお聞きします。離島に居住しているがん患者のフォローアップのために、地元の医療機関へ紹介したい場合、大きな支障なく紹介できた症例は何%ぐらいですか？

1. 100% 2. 75%以上100%未満 3. 50%以上75%未満 4. 25%以上50%未満 5. 25%未満

問 25. あなたの担当するがん患者で、在宅医療を希望された患者のうち、在宅医療に移行した症例は何%ぐらいですか？

1. 100% 2. 75%以上100%未満 3. 50%以上75%未満 4. 25%以上50%未満 5. 25%未満

問 26. 医師ががん患者とその家族に、治療の説明など必要な説明と情報を提供していますか？

1. いつもしている 2. たいていしている 3. していないほうが多い 4. ほとんどしていない

問 27. 医師以外の医療スタッフの方にお聞きします。

がん患者のケアに関して、自分の意見を医師に対して自由に言えますか？

1. 言える 2. ときどき言える 3. あまり言えない 4. 言えない

問 28. 医師の方にお聞きします。

他の医療スタッフの話に耳を傾けていますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

以上で質問は終わりです。調査にご協力いただき、ありがとうございました。

平成27年12月11日(金)までに、貴院のアンケート調査ご担当者様へお渡しく下さい。

アンケート「医療者のみなさまへ」の集計結果

1. 調査時期

2017年9月～2017年10月

2. 調査方法

秋田県がん診療連携拠点病院等の計12施設*の協力を得て、これら施設の医療者2,090名に対して、アンケート調査を実施しました。

*調査協力医療機関12施設は次のとおりです。

秋田大学医学部附属病院、大館市立総合病院、秋田厚生医療センター、秋田赤十字病院、大曲厚生医療センター、平鹿総合病院、能代厚生医療センター、由利組合総合病院、雄勝中央病院、市立秋田総合病院、中通総合病院、北秋田市民病院

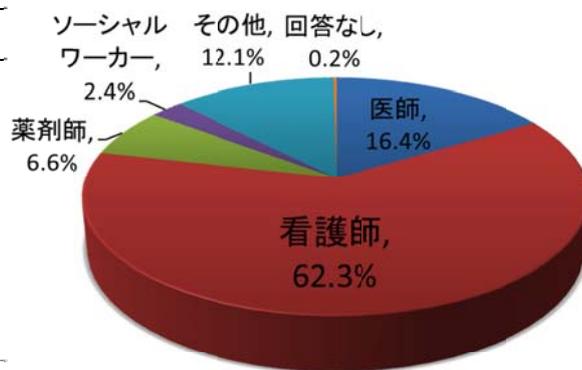
3. 回収率

アンケートの回収率は80.0%でした。

4. 集計結果一覧

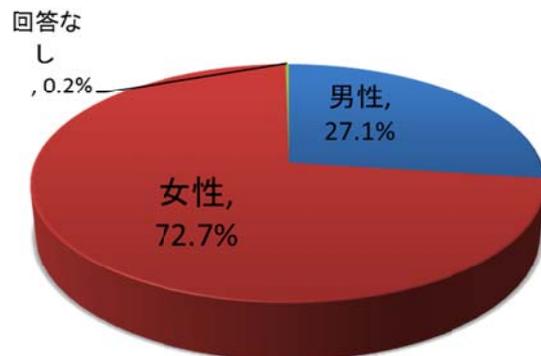
問1. あなたの職種をお答えください。

	観察数	(%)
医師	274	(16.4)
看護師	1041	(62.3)
薬剤師	110	(6.6)
ソーシャルワーカー	40	(2.4)
その他	203	(12.1)
回答なし	4	(0.2)
計	1672	(100.0)



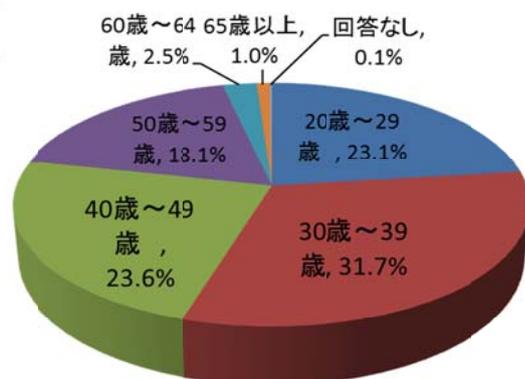
問2. あなたの性別をお答えください。

	観察数	(%)
男性	453	(27.1)
女性	1215	(72.7)
回答なし	4	(0.2)
計	1672	(100.0)



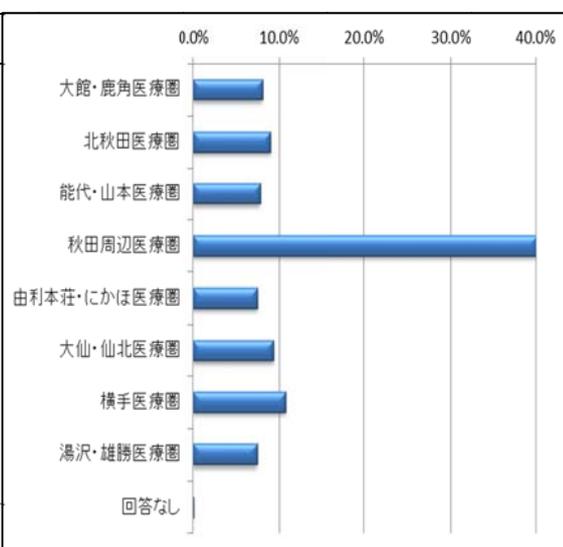
問3. あなたの年齢をお答えください。

	観察数	(%)
20歳～29歳	386	(23.1)
30歳～39歳	530	(31.7)
40歳～49歳	395	(23.6)
50歳～59歳	302	(18.1)
60歳～64歳	41	(2.5)
65歳以上	16	(1.0)
回答なし	2	(0.1)
計	1672	(100.0)



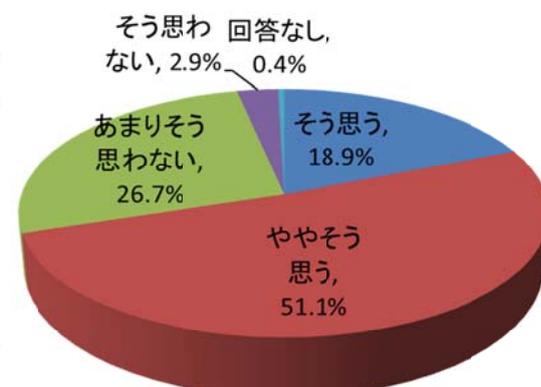
問4. あなたの施設の医療圏域をお答えください。

	観察数	(%)
大館・鹿角医療圏	135	(8.1)
北秋田医療圏	150	(9.0)
能代・山本医療圏	130	(7.8)
秋田周辺医療圏	671	(40.1)
由利本荘・にかほ医療圏	125	(7.5)
大仙・仙北医療圏	156	(9.3)
横手医療圏	179	(10.7)
湯沢・雄勝医療圏	124	(7.4)
回答なし	2	(0.1)
計	1672	(100.0)



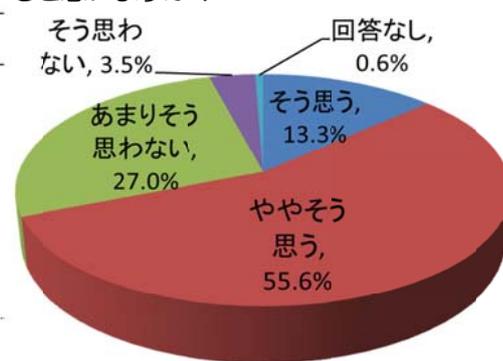
問5. 異職種間で自由に意見できる雰囲気ですか？

	観察数	(%)
そう思う	316	(18.9)
ややそう思う	855	(51.1)
あまりそう思わない	446	(26.7)
そう思わない	48	(2.9)
回答なし	7	(0.4)
計	1672	(100.0)



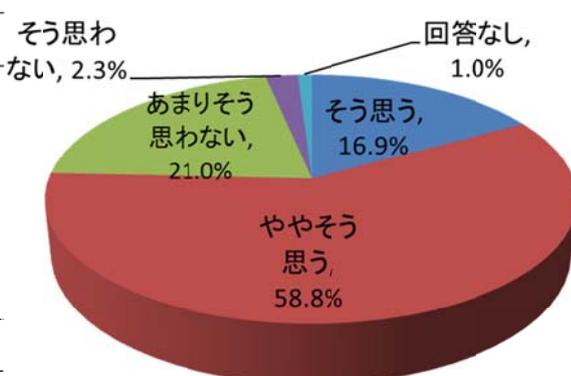
問6. 医師は必要な情報を医療スタッフ（or あなた）と共有していると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	223	(13.3)
ややそう思う	929	(55.6)
あまりそう思わない	452	(27.0)
そう思わない	58	(3.5)
回答なし	10	(0.6)
計	1672	(100.0)



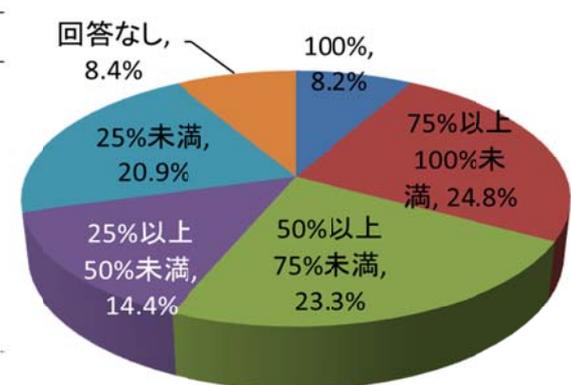
問7. あなたは、必要に応じて自分の職種以外の役割を、補いつつ仕事をするようつとめていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	283	(16.9)
ややそう思う	983	(58.8)
あまりそう思わない	351	(21.0)
そう思わない	38	(2.3)
回答なし	17	(1.0)
計	1672	(100.0)



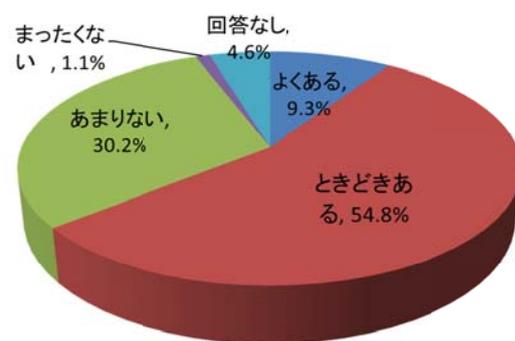
問8. あなたの担当するがん患者で、治療方針（告知等）の説明の際に、医師以外の職種も参加している割合は何%ぐらいですか。

	観察数	(%)
100%	137	(8.2)
75%以上 100%未満	414	(24.8)
50%以上 75%未満	390	(23.3)
25%以上 50%未満	240	(14.4)
25%未満	350	(20.9)
回答なし	141	(8.4)
計	1672	(100.0)



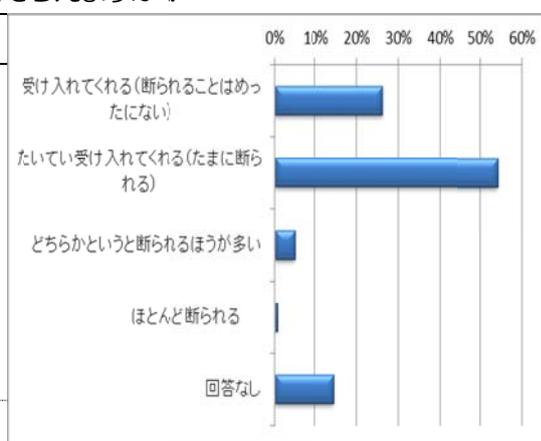
問9. がん医療を行っていくうえで、他の医療機関との連携に困難感があると思いますか？

	観察数	(%)
よくある	156	(9.3)
ときどきある	917	(54.8)
あまりない	505	(30.2)
まったくない	18	(1.1)
回答なし	76	(4.6)
計	1672	(100.0)



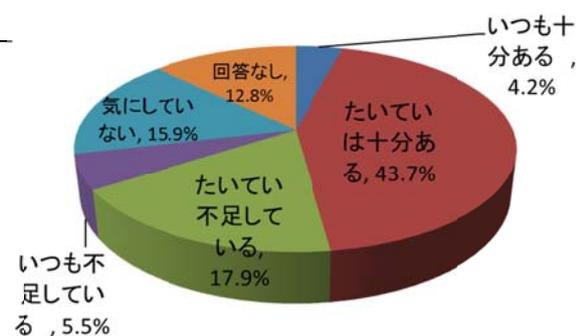
問10. 専門医療機関に対してがん患者を紹介したときに受け入れてもらえますか？

	観察数	(%)
受け入れてくれる(断られることはめったにない)	437	(26.1)
たいてい受け入れてくれる(たまに断られる)	906	(54.2)
どちらかという断られるほうが多い	79	(4.7)
ほとんど断られる	9	(0.5)
回答なし	241	(14.4)
計	1672	(100.0)



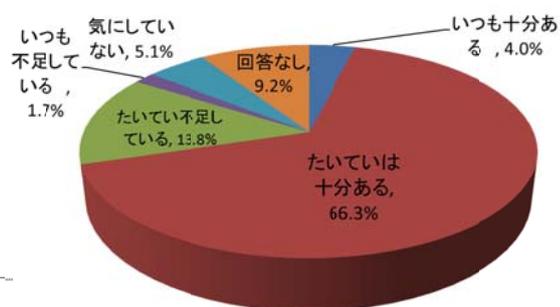
問11. 他院へがん患者を紹介した際に、その後の経過について紹介先医療機関からの情報提供がありますか？

	観察数	(%)
いつも十分ある	70	(4.2)
たいていは十分ある	730	(43.7)
たいてい不足している	300	(17.9)
いつも不足している	92	(5.5)
気にしていない	266	(15.9)
回答なし	214	(12.8)
計	1672	(100.0)



問 12. 他院からがん患者が紹介されてきた際に、その後の診療を継続するのに患者にとって十分な情報が紹介元医療機関から提供されていますか？

	観察数	(%)
いつも十分ある	66	(4.0)
たいていは十分ある	1108	(66.3)
たいてい不足している	230	(13.8)
いつも不足している	29	(1.7)
気にしていない	85	(5.1)
回答なし	154	(9.2)
計	1672	(100.0)



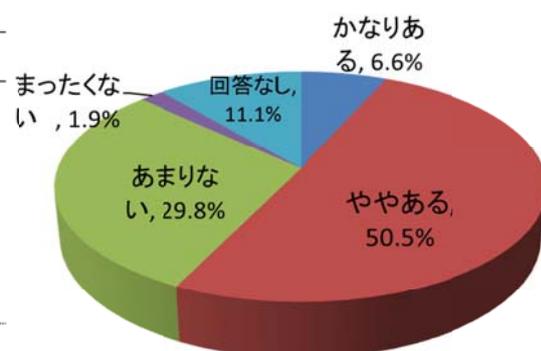
問 13. より専門的な医療機関へがん患者を紹介するときに、どの医療機関に紹介するかを決めるための情報が足りないと感じることはありますか？

	観察数	(%)
かなりある	98	(5.9)
ややある	856	(51.2)
あまりない	512	(30.6)
まったくない	25	(1.5)
回答なし	181	(10.8)
計	1672	(100.0)



問 14. がん患者を定期的なフォローアップのために紹介するときに、どの医療機関に紹介するかを決めるための情報が足りないと感じることはありますか？

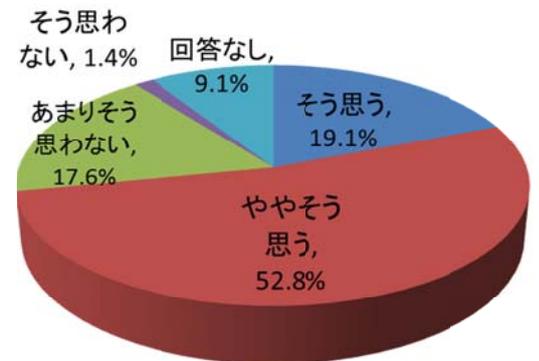
	観察数	(%)
かなりある	111	(6.6)
ややある	845	(50.5)
あまりない	498	(29.8)
まったくない	32	(1.9)
回答なし	186	(11.1)
計	1672	(100.0)



問 15. がん診療連携拠点病院、がん診療病院、がん診療連携推進病院についてお尋ねします。

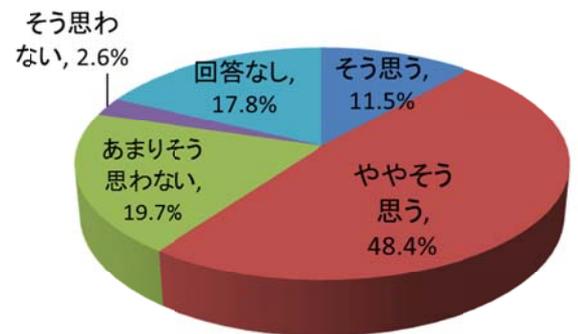
①都道府県がん診療連携拠点病院である秋田大学医学部附属病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	319	(19.1)
ややそう思う	882	(52.8)
あまりそう思わない	295	(17.6)
そう思わない	24	(1.4)
回答なし	152	(9.1)
計	1672	(100.0)



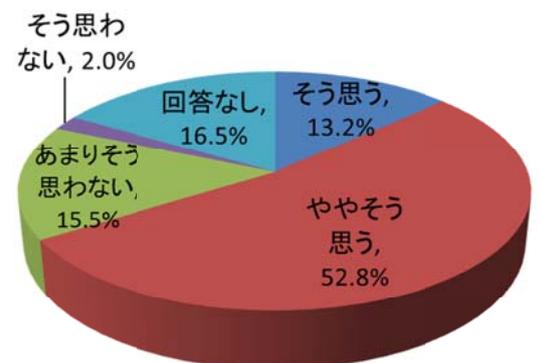
②地域がん診療連携拠点病院である大館市立総合病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	193	(11.5)
ややそう思う	810	(48.4)
あまりそう思わない	329	(19.7)
そう思わない	43	(2.6)
回答なし	297	(17.8)
計	1672	(100.0)



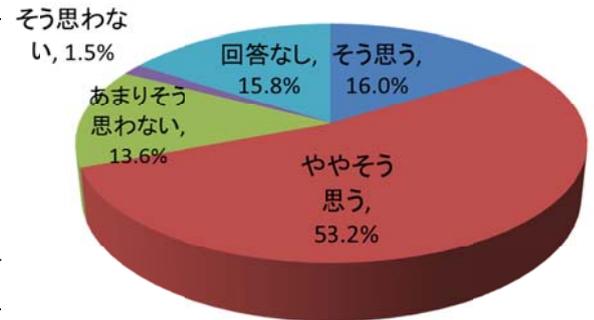
③地域がん診療連携拠点病院である秋田厚生医療センターは、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	221	(13.2)
ややそう思う	883	(52.8)
あまりそう思わない	259	(15.5)
そう思わない	33	(2.0)
回答なし	276	(16.5)
計	1672	(100.0)



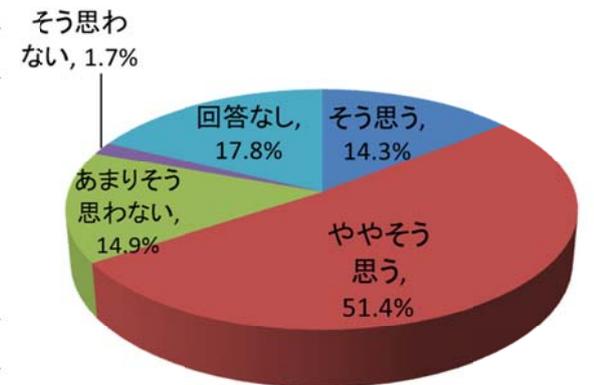
④地域がん診療連携拠点病院である秋田赤十字病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	267	(16.0)
ややそう思う	889	(53.2)
あまりそう思わない	227	(13.6)
そう思わない	25	(1.5)
回答なし	264	(15.8)
計	1672	(100.0)



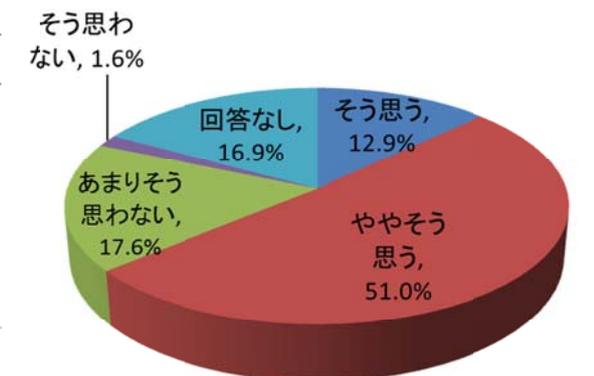
⑤地域がん診療連携拠点病院である大曲厚生医療センターは、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	239	(14.3)
ややそう思う	859	(51.4)
あまりそう思わない	249	(14.9)
そう思わない	28	(1.7)
回答なし	297	(17.8)
計	1672	(100.0)



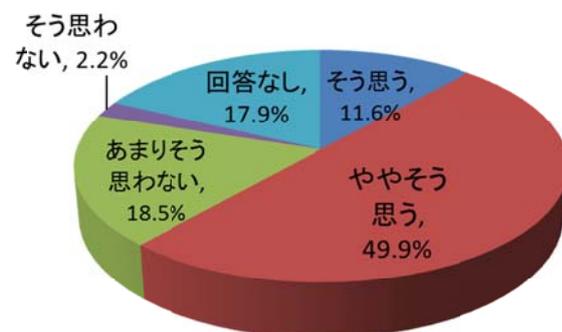
⑥地域がん診療連携拠点病院である平鹿総合病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	215	(12.9)
ややそう思う	853	(51.0)
あまりそう思わない	294	(17.6)
そう思わない	27	(1.6)
回答なし	283	(16.9)
計	1672	(100.0)



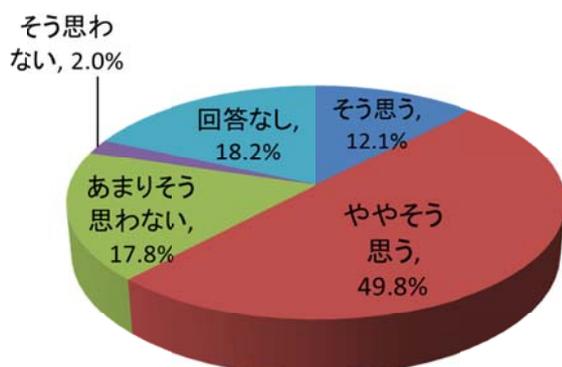
⑦地域がん診療病院である能代厚生医療センターは、がん診療病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	194	(11.6)
ややそう思う	834	(49.9)
あまりそう思わない	309	(18.5)
そう思わない	36	(2.2)
回答なし	299	(17.9)
計	1672	(100.0)



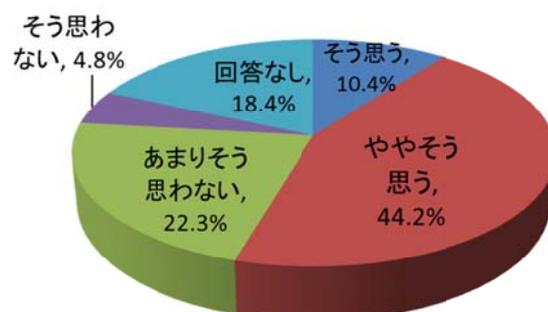
⑧地域がん診療病院である由利組合総合病院は、がん診療病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	203	(12.1)
ややそう思う	832	(49.8)
あまりそう思わない	298	(17.8)
そう思わない	34	(2.0)
回答なし	305	(18.2)
計	1672	(100.0)



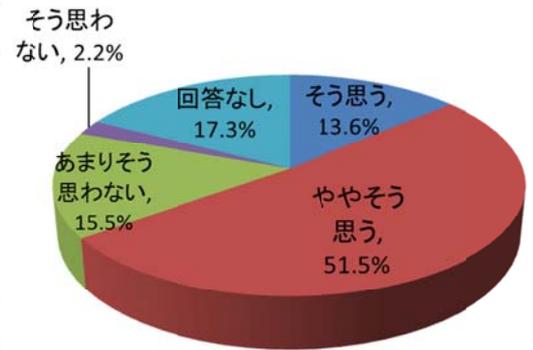
⑨地域がん診療病院である雄勝中央病院は、がん診療病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	173	(10.4)
ややそう思う	739	(44.2)
あまりそう思わない	372	(22.3)
そう思わない	81	(4.8)
回答なし	307	(18.4)
計	1672	(100.0)



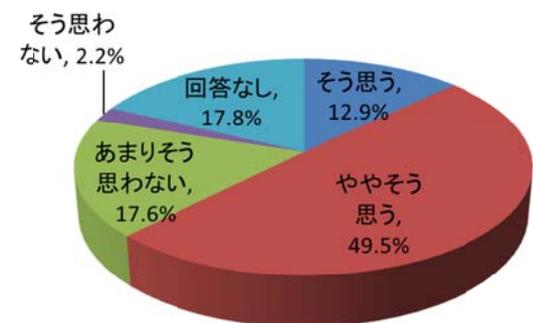
⑩市立秋田総合病院は、がん診療連携推進病院の役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	227	(13.6)
ややそう思う	861	(51.5)
あまりそう思わない	259	(15.5)
そう思わない	36	(2.2)
回答なし	289	(17.3)
計	1672	(100.0)



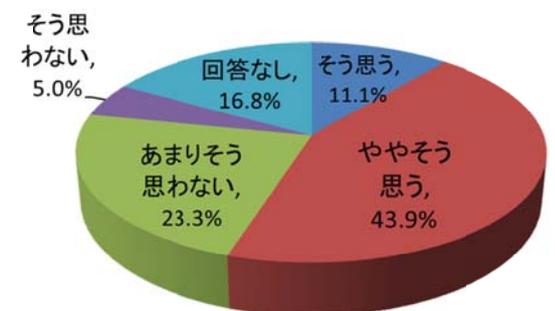
⑪中通総合病院は、がん診療連携推進病院の役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	215	(12.9)
ややそう思う	828	(49.5)
あまりそう思わない	295	(17.6)
そう思わない	36	(2.2)
回答なし	298	(17.8)
計	1672	(100.0)



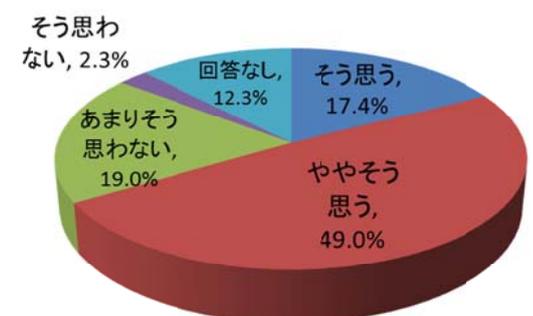
⑫北秋田市民病院は、地域の中核病院としての役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	185	(11.1)
ややそう思う	734	(43.9)
あまりそう思わない	389	(23.3)
そう思わない	83	(5.0)
回答なし	281	(16.8)
計	1672	(100.0)



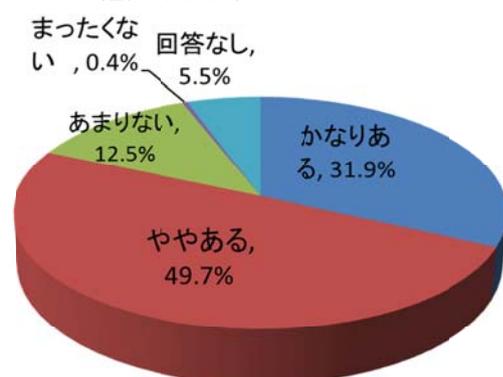
⑬都道府県がん診療連携拠点病院である秋田大学医学部附属病院は、県内のがん診療の連携体制の整備構築の役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	291	(17.4)
ややそう思う	819	(49.0)
あまりそう思わない	317	(19.0)
そう思わない	39	(2.3)
回答なし	206	(12.3)
計	1672	(100.0)



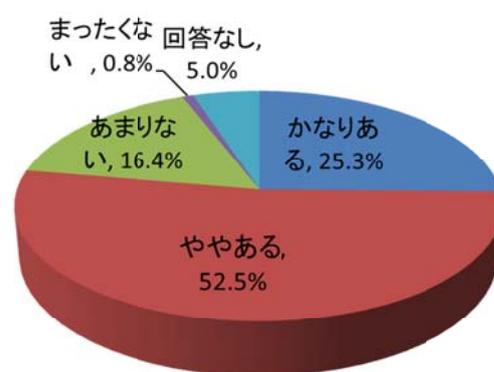
問 16. 秋田県でがん医療を提供するとき、専門医の不足を感じることはどの程度ありますか？

	観察数	(%)
かなりある	534	(31.9)
ややある	831	(49.7)
あまりない	209	(12.5)
まったくない	6	(0.4)
回答なし	92	(5.5)
計	1672	(100.0)



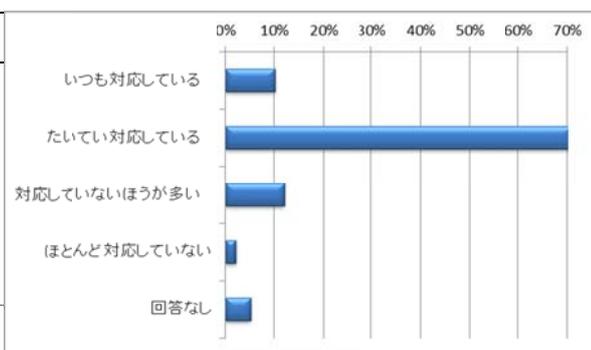
問 17. 秋田県でがん医療を提供するとき、医師以外の専門的な医療従事者（がん化学療法看護認定看護師、緩和ケア認定看護師、がん薬物療法認定薬剤師、など）の不足を感じることはどの程度ありますか？

	観察数	(%)
かなりある	423	(25.3)
ややある	877	(52.5)
あまりない	274	(16.4)
まったくない	14	(0.8)
回答なし	84	(5.0)
計	1672	(100.0)



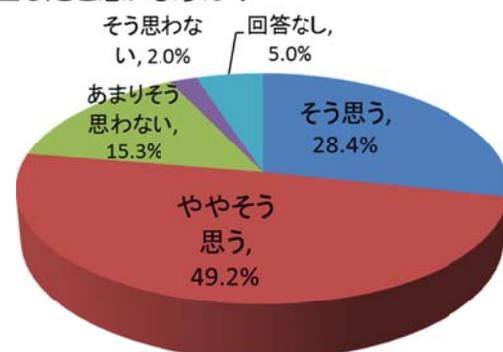
問 18. あなたは、がん患者の話を耳を傾け、患者が置かれている状況を踏まえ対応していると思いますか？

	観察数	(%)
いつも対応している	168	(10.1)
たいてい対応している	1182	(70.7)
対応していないほうが多い	200	(12.0)
ほとんど対応していない	36	(2.2)
回答なし	86	(5.1)
計	1672	(100.0)



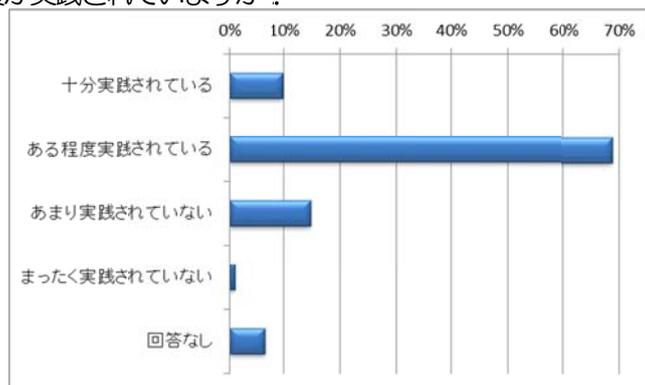
問 19. あなたの施設では、緩和ケアのレベルが3年前と比較して向上したと思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	475	(28.4)
ややそう思う	823	(49.2)
あまりそう思わない	256	(15.3)
そう思わない	34	(2.0)
回答なし	84	(5.0)
計	1672	(100.0)



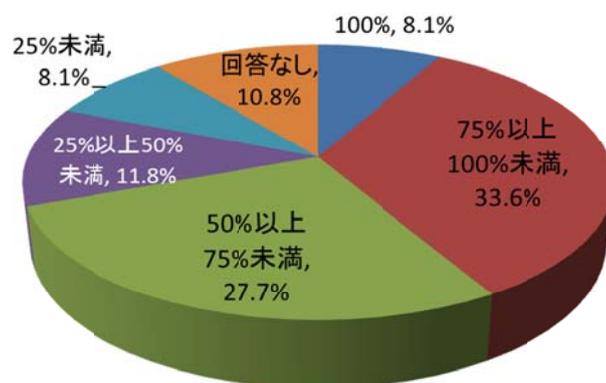
問20. あなたの施設では、がん患者に対する意思決定支援が実践されていますか？

	観察数	(%)
十分実践されている	161	(9.6)
ある程度実践されている	1149	(68.7)
あまり実践されていない	244	(14.6)
まったく実践されていない	15	(0.9)
回答なし	103	(6.2)
計	1672	(100.0)



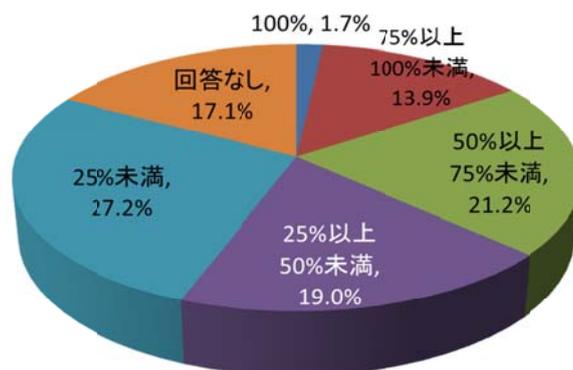
問21. あなたの担当するがん患者で、精神的痛みを含む痛みの評価を何%ぐらいの患者に実施していますか？

	観察数	(%)
100%	135	(8.1)
75%以上 100%未満	561	(33.6)
50%以上 75%未満	463	(27.7)
25%以上 50%未満	197	(11.8)
25%未満	135	(8.1)
回答なし	181	(10.8)
計	1672	(100.0)



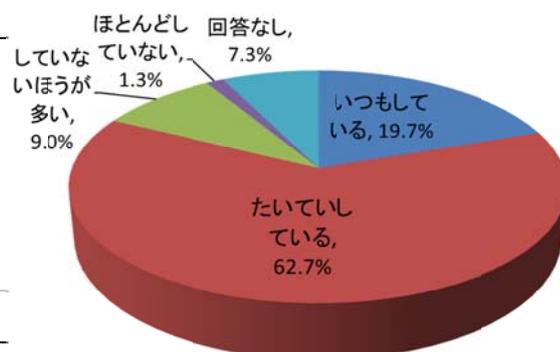
問22. あなたの担当するがん患者で、在宅医療を希望された患者のうち、在宅医療に移行した症例は何%ぐらいですか？

	観察数	(%)
100%	29	(1.7)
75%以上 100%未満	232	(13.9)
50%以上 75%未満	354	(21.2)
25%以上 50%未満	317	(19.0)
25%未満	455	(27.2)
回答なし	285	(17.1)
計	1672	(100.0)



問 23. 医師ががん患者とその家族に、治療の説明など必要な説明と情報を提供していますか？

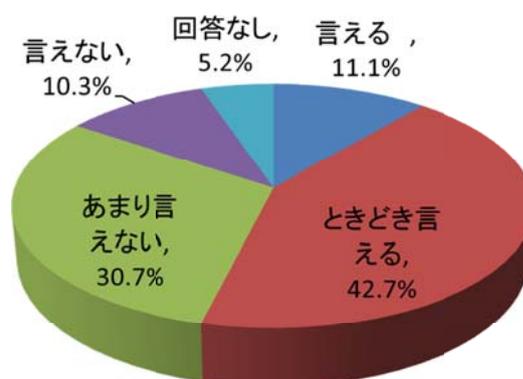
	観察数	(%)
いつもしている	329	(19.7)
たいていしている	1049	(62.7)
していないほうが多い	150	(9.0)
ほとんどしていない	22	(1.3)
回答なし	122	(7.3)
計	1672	(100.0)



問 24. 医師以外の医療スタッフの方にお聞きします。

がん患者のケアに関して、自分の意見を医師に対して自由に言えますか？

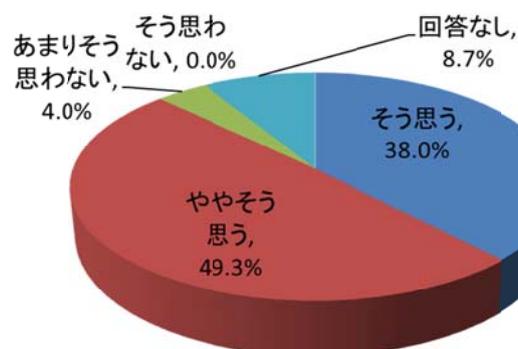
	観察数	(%)
言える	156	(11.1)
ときどき言える	597	(42.7)
あまり言えない	429	(30.7)
言えない	144	(10.3)
回答なし	72	(5.2)
計	1398	(100.0)



問 25. 医師の方にお聞きします。

他の医療スタッフの話に耳を傾けていますか？

	観察数	(%)
そう思う	104	(38.0)
ややそう思う	135	(49.3)
あまりそう思わない	11	(4.0)
そう思わない	0	(0.0)
回答なし	24	(8.7)
計	274	(100.0)



医療者のみなさまへ

～秋田県におけるがん医療をより充実させるため、ご協力をお願いします～

秋田県では、秋田県がん対策推進計画を策定し、県と市町村、保健医療関係者、県民、事業者、関係機関・団体等が一体となって、がんの予防、がんの早期発見、がん医療などのがん対策に取り組んでいます。

本アンケート調査は、秋田県のがん医療をより充実させるため、秋田大学医学部附属病院および秋田県がん診療連携協議会が実施するものです。がん医療に携わっている医療者のみなさまに調査用紙をお送りしますので、大変お手数ですが、ご協力をお願いします。

このアンケートの回答は任意であり、回答しないことで不利益が生じることはありません。また、回答いただいた内容を調査の目的以外に使用することは一切ありません。

お手数をおかけし大変申し訳ございませんが、ご記入の上、平成29年10月27日（金）までにご記入のうえ、貴院のアンケート調査ご担当者様へお渡しください。

ご記入についてのお願い

がん医療についてお答えください。

- ◆アンケートは、医療者ご自身（医師・看護師・その他医療スタッフ）についてお伺いするものです。
- ◆設問の回答は、直接この調査票の該当する項目に、鉛筆またはボールペンで○をお付けください。
- ◆無記名調査ですので、調査票には住所・氏名を記入しないでください。

<この調査に関するお問い合わせ先>

秋田大学医学部附属病院 腫瘍情報センター
〒010-8543 秋田市広面字蓮沼 44-2
TEL：018-884-6286
※電話受付時間：平日 9：00～17：00

【質問スタートです】

あなたの考えや状況に近い回答を1つ選び、数字に「○」をお付けください。

問1. あなたの職種をお答えください。

1. 医師 2. 看護師 3. 薬剤師 4. ソーシャルワーカー 5. その他（_____）

問2. あなたの性別をお答えください。

1. 男性 2. 女性

問3. あなたの年齢をお答えください。

1. 20歳～29歳 2. 30歳～39歳 3. 40歳～49歳 4. 50歳～59歳
5. 60歳～64歳 6. 65歳以上

問4. あなたの施設の医療圏をお答えください。

1. 大館・鹿角医療圏 2. 北秋田医療圏 3. 能代・山本医療圏 4. 秋田周辺医療圏
5. 由利本荘・にかほ医療圏 6. 大仙・仙北医療圏 7. 横手医療圏 8. 湯沢・雄勝医療圏

問5. 異職種間で自由に意見できる雰囲気ですか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問6. 医師は必要な情報を医療スタッフ（or あなた）と共有していると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問7. あなたは、必要に応じて自分の職種以外の役割を、補いつつ仕事をするようつとめていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問8. あなたの担当するがん患者で、治療方針（告知等）の説明の際に、医師以外の職種も参加している割合は何%ぐらいですか。

1. 100% 2. 75%以上100%未満 3. 50%以上75%未満 4. 25%以上50%未満 5. 25%未満

問9. がん医療を行っていくうえで、他の医療機関との連携に困難感があると思いますか？

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. まったくない

問10. 専門医療機関に対してがん患者を紹介したときに受け入れてもらえますか？

1. 受け入れてくれる（断られることはめったにない） 2. たいてい受け入れてくれる（たまに断られる）
3. どちらかという断られるほうが多い 4. ほとんど断られる

問11. 他院へがん患者を紹介した際に、その後の経過について紹介先医療機関からの情報提供がありますか？

1. いつも十分ある 2. たいていは十分ある 3. たいてい不足している
4. いつも不足している 5. 気にしていない

問12. 他院からがん患者が紹介されてきた際に、その後の診療を継続するのに患者にとって十分な情報が紹介元医療機関から提供されていますか？

1. いつも十分ある 2. たいていは十分ある 3. たいてい不足している
4. いつも不足している 5. 気にしていない

問13. より専門的な医療機関へがん患者を紹介するときに、どの医療機関に紹介するかを決めるための情報が足りないと感じることはありますか？

1. かなりある 2. ややある 3. あまりない 4. まったくない

問14. がん患者を定期的なフォローアップのために紹介するときに、どの医療機関に紹介するかを決めるための情報が足りないと感じることはありますか？

1. かなりある 2. ややある 3. あまりない 4. まったくない

問15. がん診療連携拠点病院、がん診療病院、がん診療連携推進病院についてお尋ねします。

①都道府県がん診療連携拠点病院である秋田大学医学部附属病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

裏面に続きます

②地域がん診療連携拠点病院である大館市立総合病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

③地域がん診療連携拠点病院である秋田厚生医療センターは、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

④地域がん診療連携拠点病院である秋田赤十字病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑤地域がん診療連携拠点病院である大曲厚生医療センターは、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑥地域がん診療連携拠点病院である平鹿総合病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑦地域がん診療病院である能代厚生医療センターは、がん診療病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑧地域がん診療病院である由利組合総合病院は、がん診療病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑨地域がん診療病院である雄勝中央病院は、がん診療病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑩市立秋田総合病院は、がん診療連携推進病院の役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑪中通総合病院は、がん診療連携推進病院の役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑫北秋田市民病院は、地域の中核病院としての役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑬都道府県がん診療連携拠点病院である秋田大学医学部附属病院は、県内のがん診療の連携体制の整備構築の役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 16. 秋田県でがん医療を提供するとき、専門医の不足を感じることはどの程度ありますか？

1. かなりある 2. ややある 3. あまりない 4. まったくない

問 17. 秋田県でがん医療を提供するとき、医師以外の専門的な医療従事者（がん化学療法看護認定看護師、緩和ケア認定看護師、がん薬物療法認定薬剤師、など）の不足を感じることはどの程度ありますか？

1. かなりある 2. ややある 3. あまりない 4. まったくない

問 18. あなたは、がん患者の話に耳を傾け、患者が置かれている状況を踏まえ対応していると思いますか？

1. いつも対応している 2. たいてい対応している
3. 対応していないほうが多い 4. ほとんど対応していない

問 19. あなたの施設では、緩和ケアのレベルが3年前と比較して向上したと思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 20. あなたの施設では、がん患者に対する意思決定支援が実践されていますか？

1. 十分実践されている 2. ある程度実践されている 3. あまり実践されていない
4. まったく実践されていない

問 21. あなたの担当するがん患者で、精神的痛みを含む痛みの評価を何%ぐらいの患者に実施していますか？

1. 100% 2. 75%以上 100%未満 3. 50%以上 75%未満 4. 25%以上 50%未満 5. 25%未満

問 22. あなたの担当するがん患者で、在宅医療を希望された患者のうち、在宅医療に移行した症例は何%ぐらいですか？

1. 100% 2. 75%以上 100%未満 3. 50%以上 75%未満 4. 25%以上 50%未満 5. 25%未満

問 23. 医師ががん患者とその家族に、治療の説明など必要な説明と情報を提供していますか？

1. いつもしている 2. たいていしている 3. していないほうが多い 4. ほとんどしていない

問 24. 医師以外の医療スタッフの方にお聞きします。

がん患者のケアに関して、自分の意見を医師に対して自由に言えますか？

1. 言える 2. ときどき言える 3. あまり言えない 4. 言えない

問 25. 医師の方にお聞きします。

他の医療スタッフの話に耳を傾けていますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

以上で質問は終わりです。調査にご協力いただき、ありがとうございました。

平成 29 年 10 月 27 日（金）までに、貴院のアンケート調査ご担当者様へお渡しください。

アンケート「医療者のみなさまへ」の集計結果

1. 調査時期

2020年7月～2020年8月

2. 調査方法

がん診療連携拠点病院等の計12施設*の協力を得て、これら施設の医療者2,000名に対して、アンケート調査を実施しました。

*調査協力医療機関12施設は次のとおりです。

秋田大学医学部附属病院、大館市立総合病院、秋田厚生医療センター、秋田赤十字病院、大曲厚生医療センター、平鹿総合病院、能代厚生医療センター、由利組合総合病院、雄勝中央病院、市立秋田総合病院、中通総合病院、北秋田市民病院

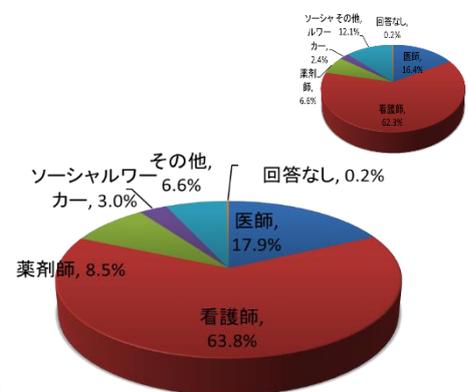
3. 回収率

アンケートの回収率は77.3%でした。

4. 集計結果一覧

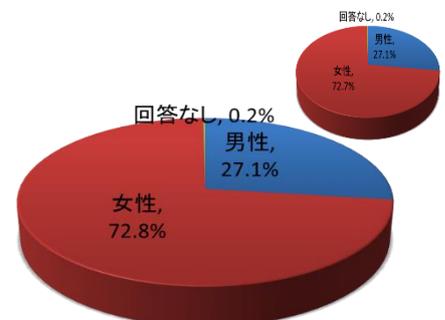
問1. あなたの職種をお答えください。

	観察数	(%)
医師	277	(17.9)
看護師	985	(63.8)
薬剤師	131	(8.5)
ソーシャルワーカー	47	(3.0)
その他	102	(6.6)
回答なし	3	(0.2)
計	1,545	(100.0)



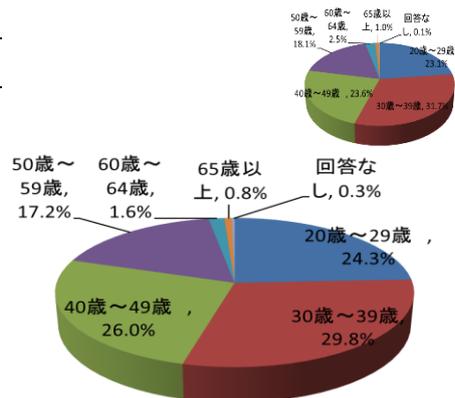
問2. あなたの性別をお答えください。

	観察数	(%)
男性	418	(27.1)
女性	1,124	(72.8)
回答なし	3	(0.2)
計	1,545	(100.0)



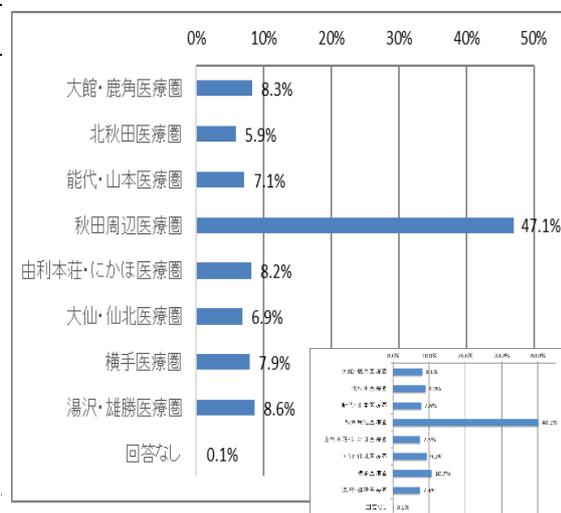
問3. あなたの年齢をお答えください。

	観察数	(%)
20歳～29歳	375	(24.3)
30歳～39歳	461	(29.8)
40歳～49歳	402	(26.0)
50歳～59歳	266	(17.2)
60歳～64歳	25	(1.6)
65歳以上	12	(0.8)
回答なし	4	(0.3)
計	1,545	(100.0)



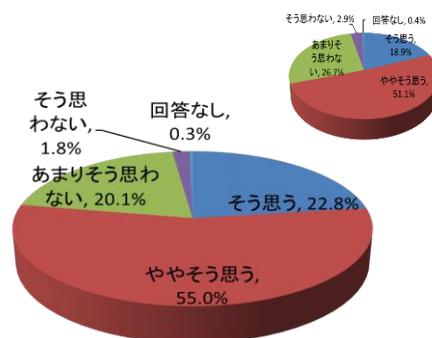
問4. あなたの施設の医療圏をお答えください。

	観察数	(%)
大館・鹿角医療圏	128	(8.3)
北秋田医療圏	91	(5.9)
能代・山本医療圏	110	(7.1)
秋田周辺医療圏	727	(47.1)
由利本荘・にかほ医療圏	126	(8.2)
大仙・仙北医療圏	106	(6.9)
横手医療圏	122	(7.9)
湯沢・雄勝医療圏	133	(8.6)
回答なし	2	(0.1)
計	1,545	(100.0)



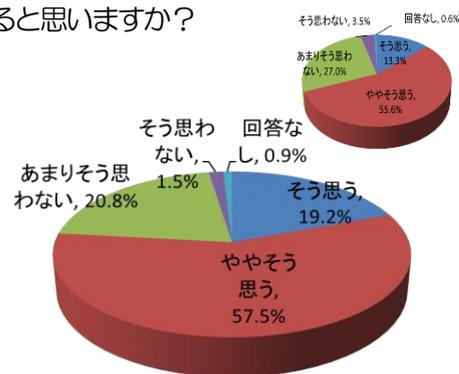
問5. 異職種間で自由に意見できる雰囲気ですか？

	観察数	(%)
そう思う	353	(22.8)
ややそう思う	850	(55.0)
あまりそう思わない	310	(20.1)
そう思わない	28	(1.8)
回答なし	4	(0.3)
計	1,545	(100.0)



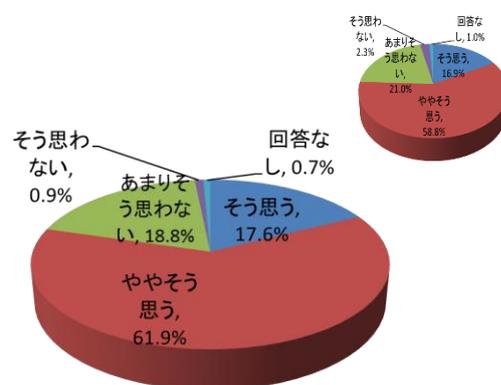
問6. 医師は必要な情報を医療スタッフ（or あなた）と共有していると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	297	(19.2)
ややそう思う	889	(57.5)
あまりそう思わない	322	(20.8)
そう思わない	23	(1.5)
回答なし	14	(0.9)
計	1,545	(100.0)



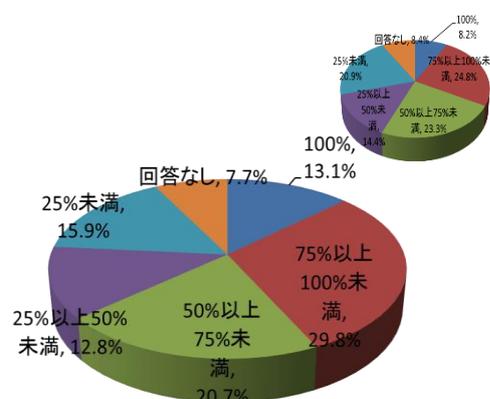
問7. あなたは、必要に応じて自分の職種以外の役割を、補いつつ仕事をするようつとめていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	272	(17.6)
ややそう思う	957	(61.9)
あまりそう思わない	291	(18.8)
そう思わない	14	(0.9)
回答なし	11	(0.7)
計	1,545	(100.0)



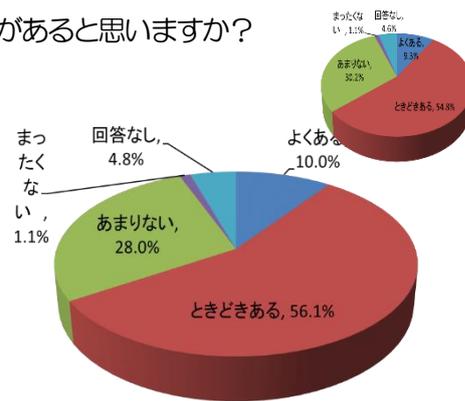
問8. あなたの担当するがん患者で、治療方針（告知等）の説明の際に、医師以外の職種も参加している割合は何%ぐらいですか。

	観察数	(%)
100%	202	(13.1)
75%以上 100%未満	461	(29.8)
50%以上 75%未満	320	(20.7)
25%以上 50%未満	198	(12.8)
25%未満	245	(15.9)
回答なし	119	(7.7)
計	1,545	(100.0)



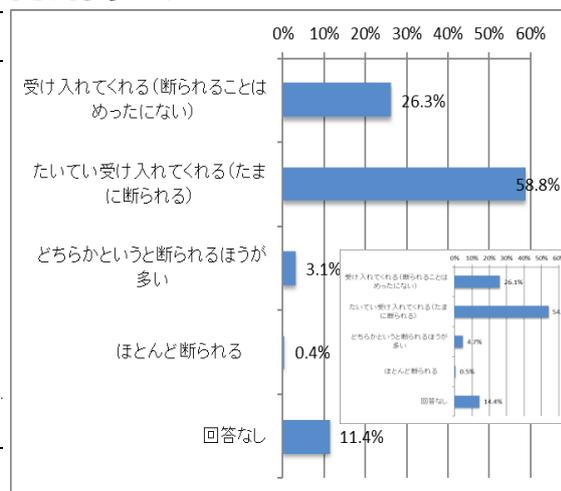
問9. がん医療を行っていくうえで、他の医療機関との連携に困難感があると思いますか？

	観察数	(%)
よくある	154	(10.0)
ときどきある	867	(56.1)
あまりない	433	(28.0)
まったくない	17	(1.1)
回答なし	74	(4.8)
計	1,545	(100.0)



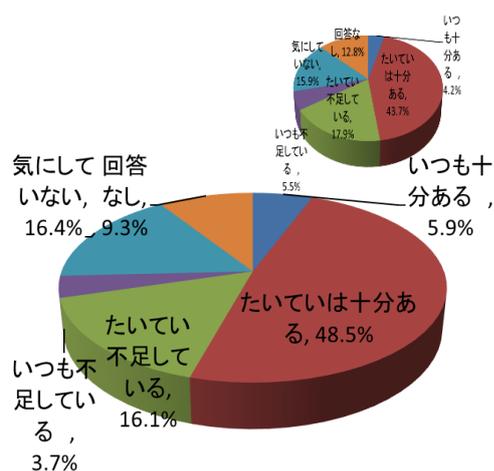
問10. 専門医療機関に対してがん患者を紹介したときに受け入れてもらえますか？

	観察数	(%)
受け入れてくれる（断られることはめったにない）	406	(26.3)
たいてい受け入れてくれる（たまに断られる）	909	(58.8)
どちらかという断られるほうが多い	48	(3.1)
ほとんど断られる	6	(0.4)
回答なし	176	(11.4)
計	1,545	(100.0)



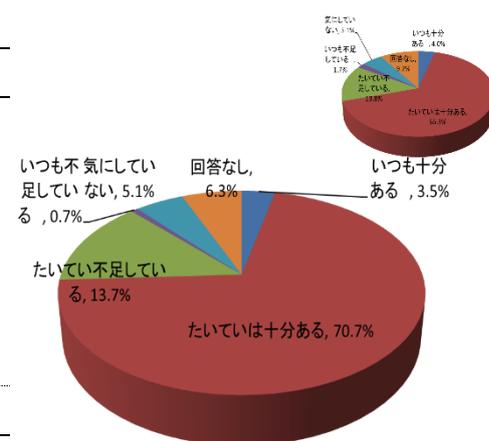
問11. 他院へがん患者を紹介した際に、その後の経過について紹介先医療機関からの情報提供がありますか？

	観察数	(%)
いつも十分ある	91	(5.9)
たいていは十分ある	750	(48.5)
たいてい不足している	249	(16.1)
いつも不足している	57	(3.7)
気にしていない	254	(16.4)
回答なし	144	(9.3)
計	1,545	(100.0)



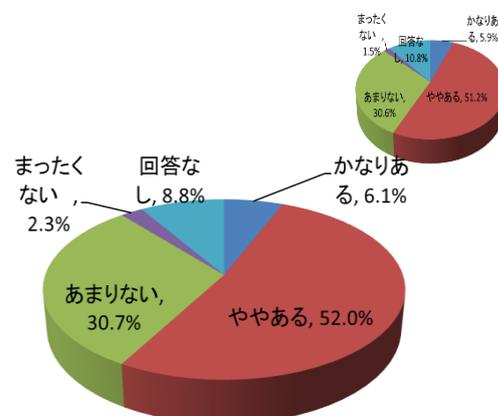
問 12. 他院からがん患者が紹介されてきた際に、その後の診療を継続するのに患者にとって十分な情報が紹介元医療機関から提供されていますか？

	観察数	(%)
いつも十分ある	54	(3.5)
たいていは十分ある	1,092	(70.7)
たいてい不足している	212	(13.7)
いつも不足している	11	(0.7)
気にしていない	79	(5.1)
回答なし	97	(6.3)
計	1,545	(100.0)



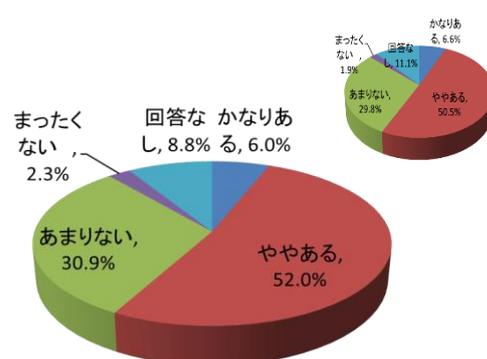
問 13. より専門的な医療機関へがん患者を紹介するときに、どの医療機関に紹介するかを決めるための情報が足りないと感じることはありますか？

	観察数	(%)
かなりある	95	(6.1)
ややある	804	(52.0)
あまりない	474	(30.7)
まったくない	36	(2.3)
回答なし	136	(8.8)
計	1,545	(100.0)



問 14. がん患者を定期的なフォローアップのために紹介するときに、どの医療機関に紹介するかを決めるための情報が足りないと感じることはありますか？

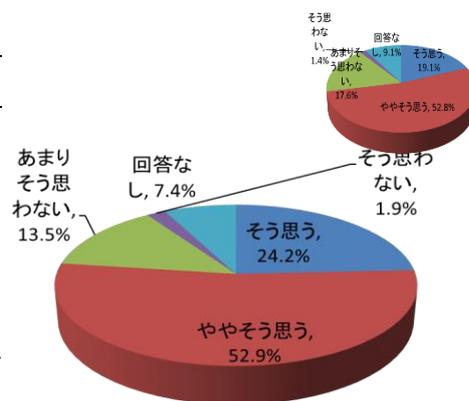
	観察数	(%)
かなりある	92	(6.0)
ややある	803	(52.0)
あまりない	478	(30.9)
まったくない	36	(2.3)
回答なし	136	(8.8)
計	1,545	(100.0)



問 15. がん診療連携拠点病院、がん診療病院、がん診療連携推進病院についてお尋ねします。

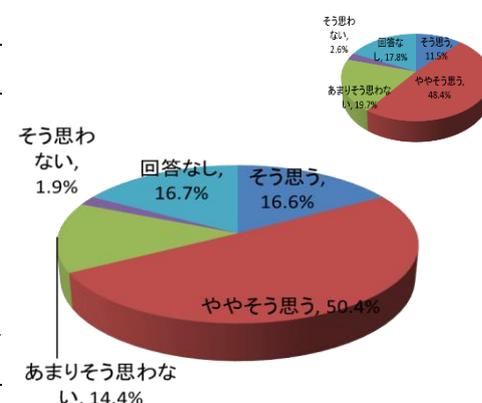
①都道府県がん診療連携拠点病院である秋田大学医学部附属病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	374	(24.2)
ややそう思う	818	(52.9)
あまりそう思わない	209	(13.5)
そう思わない	30	(1.9)
回答なし	114	(7.4)
計	1,545	(100.0)



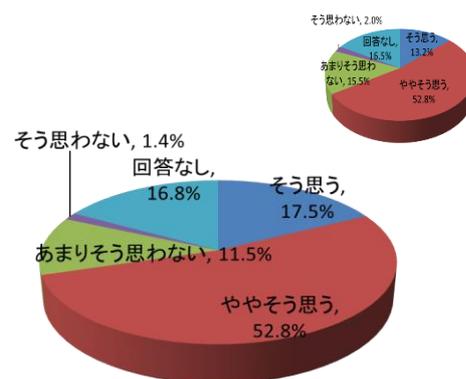
②地域がん診療連携拠点病院である大館市立総合病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	257	(16.6)
ややそう思う	779	(50.4)
あまりそう思わない	222	(14.4)
そう思わない	29	(1.9)
回答なし	258	(16.7)
計	1,545	(100.0)



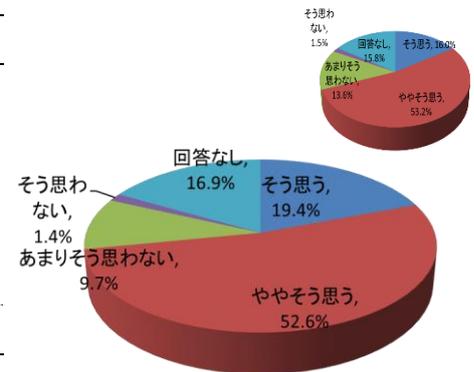
③地域がん診療連携拠点病院である秋田厚生医療センターは、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	270	(17.5)
ややそう思う	815	(52.8)
あまりそう思わない	178	(11.5)
そう思わない	22	(1.4)
回答なし	260	(16.8)
計	1,545	(100.0)



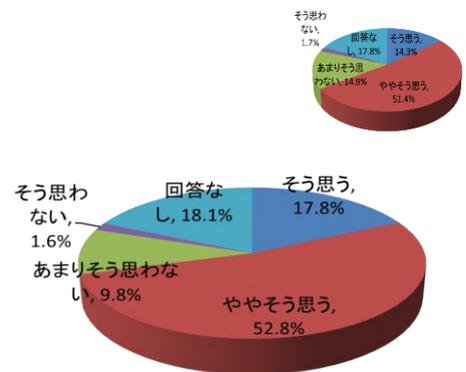
④地域がん診療連携拠点病院である秋田赤十字病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	299	(19.4)
ややそう思う	813	(52.6)
あまりそう思わない	150	(9.7)
そう思わない	22	(1.4)
回答なし	261	(16.9)
計	1,545	(100.0)



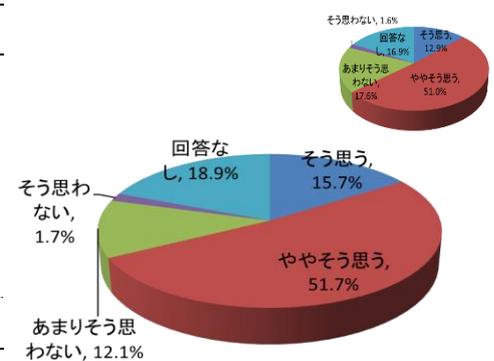
⑤地域がん診療病院である大曲厚生医療センターは、がん診療病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	275	(17.8)
ややそう思う	815	(52.8)
あまりそう思わない	151	(9.8)
そう思わない	25	(1.6)
回答なし	279	(18.1)
計	1,545	(100.0)



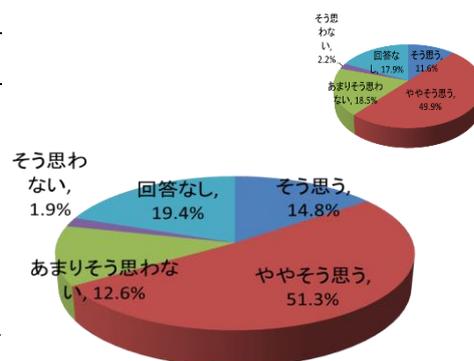
⑥地域がん診療病院である平鹿総合病院は、がん診療病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	242	(15.7)
ややそう思う	798	(51.7)
あまりそう思わない	187	(12.1)
そう思わない	26	(1.7)
回答なし	292	(18.9)
計	1,545	(100.0)



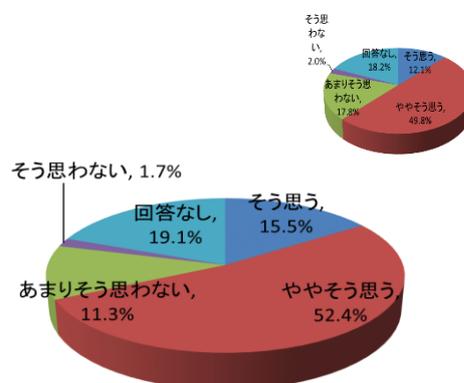
⑦地域がん診療病院である能代厚生医療センターは、がん診療病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	229	(14.8)
ややそう思う	792	(51.3)
あまりそう思わない	194	(12.6)
そう思わない	30	(1.9)
回答なし	300	(19.4)
計	1,545	(100.0)



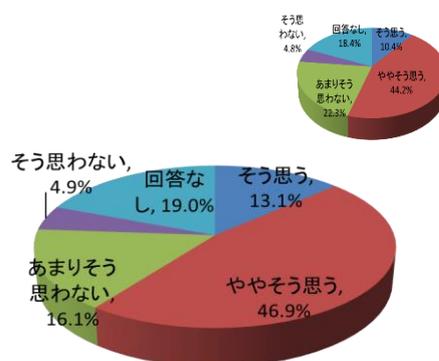
⑧地域がん診療病院である由利組合総合病院は、がん診療病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	240	(15.5)
ややそう思う	809	(52.4)
あまりそう思わない	174	(11.3)
そう思わない	27	(1.7)
回答なし	295	(19.1)
計	1,545	(100.0)



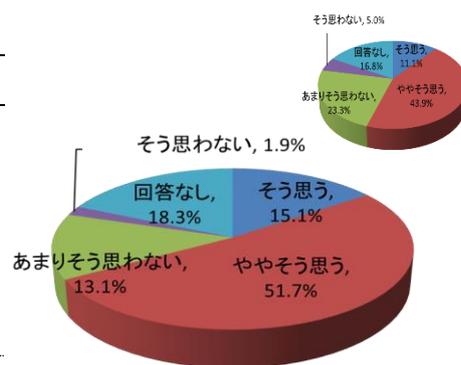
⑨地域がん診療病院である雄勝中央病院は、がん診療病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	203	(13.1)
ややそう思う	725	(46.9)
あまりそう思わない	249	(16.1)
そう思わない	75	(4.9)
回答なし	293	(19.0)
計	1,545	(100.0)



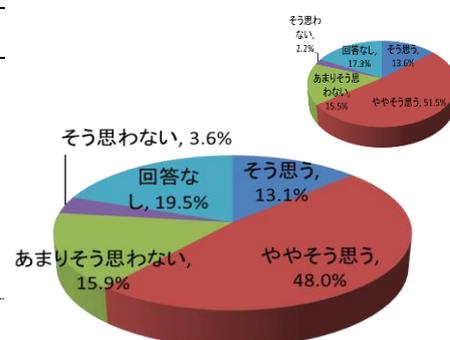
⑩地域がん診療病院である北秋田市民病院は、がん診療病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	233	(15.1)
ややそう思う	798	(51.7)
あまりそう思わない	203	(13.1)
そう思わない	29	(1.9)
回答なし	282	(18.3)
計	1,545	(100.0)



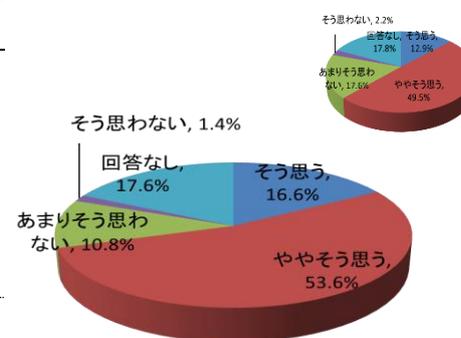
⑪市立秋田総合病院は、がん診療連携推進病院の役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	203	(13.1)
ややそう思う	741	(48.0)
あまりそう思わない	245	(15.9)
そう思わない	55	(3.6)
回答なし	301	(19.5)
計	1,545	(100.0)



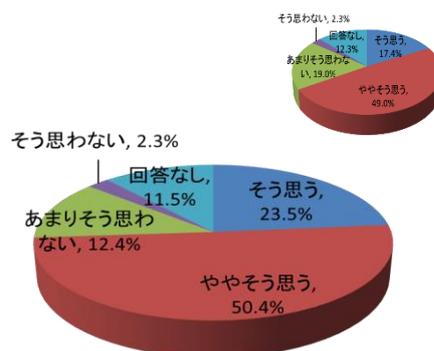
⑫中通総合病院は、がん診療連携推進病院の役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	256	(16.6)
ややそう思う	828	(53.6)
あまりそう思わない	167	(10.8)
そう思わない	22	(1.4)
回答なし	272	(17.6)
計	1,545	(100.0)



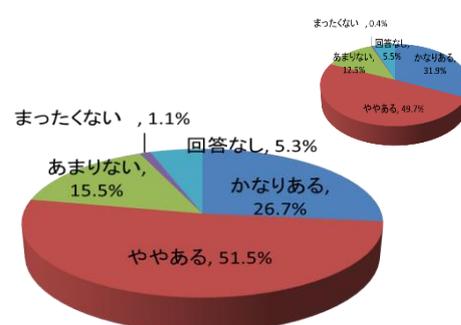
⑬都道府県がん診療連携拠点病院である秋田大学医学部附属病院は、県内のがん診療の連携体制の整備構築の役割を十分に担っていると思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	363	(23.5)
ややそう思う	778	(50.4)
あまりそう思わない	192	(12.4)
そう思わない	35	(2.3)
回答なし	177	(11.5)
計	1,545	(100.0)



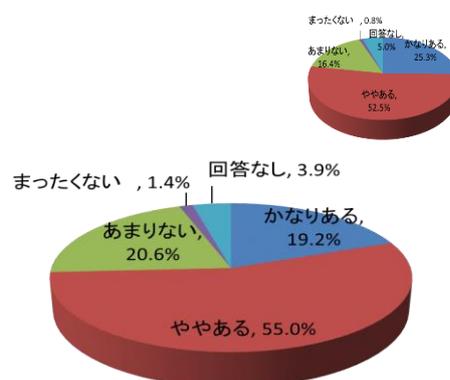
問 16. 秋田県でがん医療を提供するとき、専門医の不足を感じることはどの程度ありますか？

	観察数	(%)
かなりある	412	(26.7)
ややある	795	(51.5)
あまりない	239	(15.5)
まったくない	17	(1.1)
回答なし	82	(5.3)
計	1,545	(100.0)



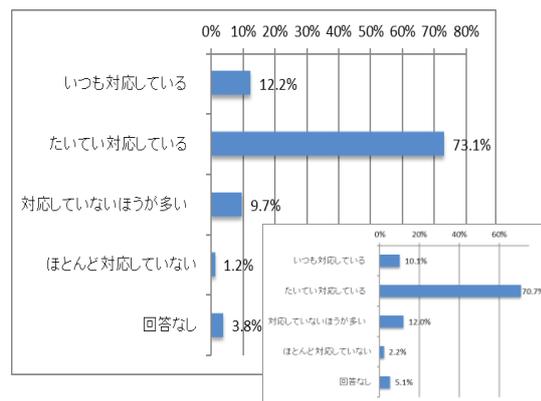
問 17. 秋田県でがん医療を提供するとき、医師以外の専門的な医療従事者（がん化学療法看護認定看護師、緩和ケア認定看護師、がん薬物療法認定薬剤師、など）の不足を感じることはどの程度ありますか？

	観察数	(%)
かなりある	296	(19.2)
ややある	849	(55.0)
あまりない	319	(20.6)
まったくない	21	(1.4)
回答なし	60	(3.9)
計	1,545	(100.0)



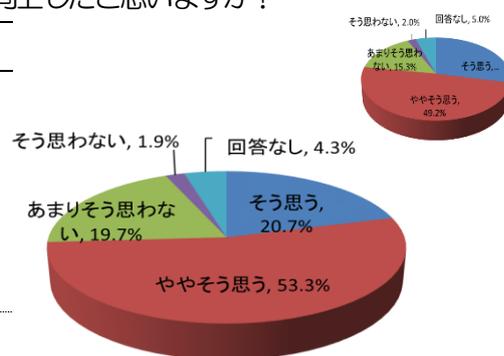
問 18. あなたは、がん患者の話に耳を傾け、患者が置かれている状況を踏まえ対応していると思いますか？

	観察数	(%)
いつも対応している	189	(12.2)
たいてい対応している	1,129	(73.1)
対応していないほうが多い	150	(9.7)
ほとんど対応していない	19	(1.2)
回答なし	58	(3.8)
計	1,545	(100.0)



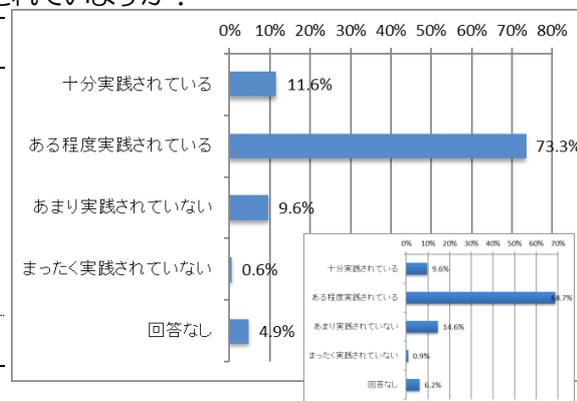
問 19. あなたの施設では、緩和ケアのレベルが3年前と比較して向上したと思いますか？

	観察数	(%)
そう思う	320	(20.7)
ややそう思う	823	(53.3)
あまりそう思わない	305	(19.7)
そう思わない	30	(1.9)
回答なし	67	(4.3)
計	1,545	(100.0)



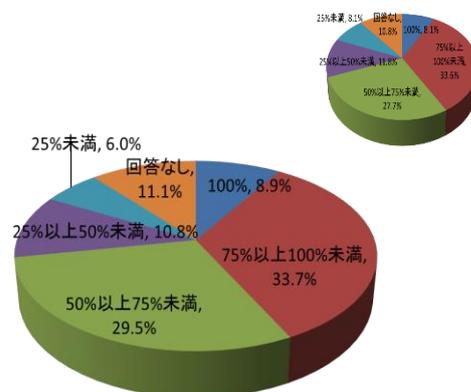
問 20. あなたの施設では、がん患者に対する意思決定支援が実践されていますか？

	観察数	(%)
十分実践されている	179	(11.6)
ある程度実践されている	1,133	(73.3)
あまり実践されていない	149	(9.6)
まったく実践されていない	9	(0.6)
回答なし	75	(4.9)
計	1,545	(100.0)



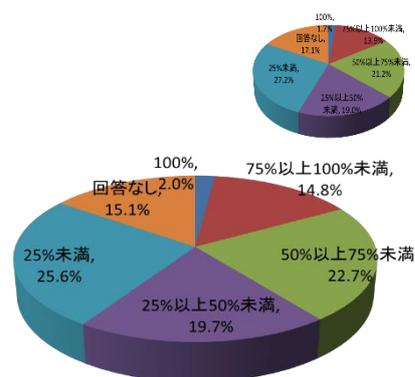
問 21. あなたの担当するがん患者で、精神的痛みを含む痛みの評価を何%ぐらいの患者に実施していますか？

	観察数	(%)
100%	138	(8.9)
75%以上 100%未満	520	(33.7)
50%以上 75%未満	456	(29.5)
25%以上 50%未満	167	(10.8)
25%未満	92	(6.0)
回答なし	172	(11.1)
計	1,545	(100.0)



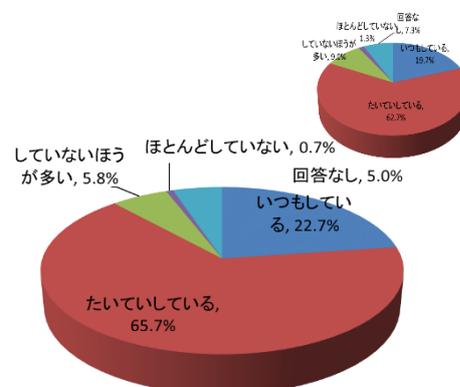
問 22. あなたの担当するがん患者で、在宅医療を希望された患者のうち、在宅医療に移行した症例は何%ぐらいですか？

	観察数	(%)
100%	31	(2.0)
75%以上 100%未満	228	(14.8)
50%以上 75%未満	351	(22.7)
25%以上 50%未満	305	(19.7)
25%未満	396	(25.6)
回答なし	234	(15.1)
計	1,545	(100.0)



問 23. 医師ががん患者とその家族に、治療の説明など必要な説明と情報を提供していますか？

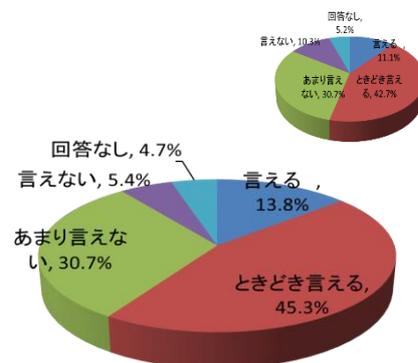
	観察数	(%)
いつもしている	351	(22.7)
たいていしている	1,015	(65.7)
していないほうが多い	90	(5.8)
ほとんどしていない	11	(0.7)
回答なし	78	(5.0)
計	1,545	(100.0)



問 24. 医師以外の医療スタッフの方にお聞きします。

がん患者のケアに関して、自分の意見を医師に対して自由に言えますか？

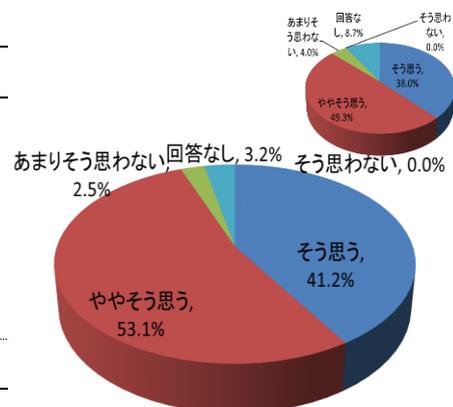
	観察数	(%)
言える	175	(13.8)
ときどき言える	575	(45.3)
あまり言えない	389	(30.7)
言えない	69	(5.4)
回答なし	60	(4.7)
計	1,268	(100.0)



問 25. 医師の方にお聞きします。

他の医療スタッフの話に耳を傾けていますか？

	観察数	(%)
そう思う	114	(41.2)
ややそう思う	147	(53.1)
あまりそう思わない	7	(2.5)
そう思わない	0	(0.0)
回答なし	9	(3.2)
計	277	(100.0)



医療者のみなさまへ

～秋田県におけるがん医療をより充実させるため、ご協力をお願いします～

秋田県では、秋田県がん対策推進計画を策定し、県と市町村、保健医療関係者、県民、事業者、関係機関・団体等が一体となって、がんの予防、がんの早期発見、がん医療などのがん対策に取り組んでいます。

本アンケート調査は、秋田県のがん医療をより充実させるため、秋田大学医学部附属病院および秋田県がん診療連携協議会において実施するものです。がん医療に携わっている医療者のみなさまに調査用紙をお送りしますので、大変お手数ですが、ご協力をお願いします。

このアンケートの回答は任意であり、回答しないことで不利益が生じることはありません。また、回答いただいた内容を調査の目的以外に使用することは一切ありません。

お手数をおかけし大変申し訳ございませんが、ご記入の上、令和2年8月21日（金）までにご記入のうえ、貴院のアンケート調査ご担当者様へお渡しください。

ご記入についてのお願い

がん医療についてお答えください。

- ◆アンケートは、医療者ご自身（医師・看護師・その他医療スタッフ）についてお伺いするものです。
- ◆設問の回答は、直接この調査票の該当する項目に、鉛筆またはボールペンで○をお付けください。
- ◆無記名調査ですので、調査票には住所・氏名を記入しないでください。

<この調査に関するお問い合わせ先>

秋田県がん診療連携協議会 アンケート調査事務局（秋田大学医学部附属病院医事課内）
〒010-8543 秋田市広面字蓮沼 44 番 2
TEL：018-884-6041
※電話受付時間：平日 9：00～17：00

【質問スタートです】

あなたの考えや状況に近い回答を1つ選び、数字に「○」をお付けください。

問1. あなたの職種をお答えください。

1. 医師 2. 看護師 3. 薬剤師 4. ソーシャルワーカー 5. その他
()

問2. あなたの性別をお答えください。

1. 男性 2. 女性

問3. あなたの年齢をお答えください。

1. 20歳～29歳 2. 30歳～39歳 3. 40歳～49歳 4. 50歳～59歳
5. 60歳～64歳 6. 65歳以上

問4. あなたの施設の医療圏をお答えください。

1. 大館・鹿角医療圏 2. 北秋田医療圏 3. 能代・山本医療圏 4. 秋田周辺医療圏
5. 由利本荘・にかほ医療圏 6. 大仙・仙北医療圏 7. 横手医療圏 8. 湯沢・雄勝医療圏

問5. 異職種間で自由に意見できる雰囲気ですか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問6. 医師は必要な情報を医療スタッフ（or あなた）と共有していると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問7. あなたは、必要に応じて自分の職種以外の役割を、補いつつ仕事をしようつとめていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問8. あなたの担当するがん患者で、治療方針（告知等）の説明の際に、医師以外の職種も参加している割合は何%ぐらいですか？

1. 100% 2. 75%以上100%未満 3. 50%以上75%未満 4. 25%以上50%未満 5. 25%未満

問9. がん医療を行っていくうえで、他の医療機関との連携に困難感があると思いますか？

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. まったくない

問10. 専門医療機関に対してがん患者を紹介したときに受け入れてもらえますか？

1. 受け入れてくれる（断られることはめったにない） 2. たいいてい受け入れてくれる（たまに断られる）
3. どちらかという断られるほうが多い 4. ほとんど断られる

問11. 他院へがん患者を紹介した際に、その後の経過について紹介先医療機関からの情報提供がありますか？

1. いつも十分ある 2. たいいていは十分ある 3. たいいてい不足している
4. いつも不足している 5. 気にしていない

問12. 他院からがん患者が紹介されてきた際に、その後の診療を継続するのに患者にとって十分な情報が紹介元医療機関から提供されていますか？

1. いつも十分ある 2. たいいていは十分ある 3. たいいてい不足している
4. いつも不足している 5. 気にしていない

問13. より専門的な医療機関へがん患者を紹介するときに、どの医療機関に紹介するかを決めるための情報が足りないと感じることはありますか？

1. かなりある 2. ややある 3. あまりない 4. まったくない

問14. がん患者を定期的なフォローアップのために紹介するときに、どの医療機関に紹介するかを決めるための情報が足りないと感じることはありますか？

1. かなりある 2. ややある 3. あまりない 4. まったくない

問15. がん診療連携拠点病院、がん診療病院、がん診療連携推進病院についてお尋ねします。

①都道府県がん診療連携拠点病院である秋田大学医学部附属病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

②地域がん診療連携拠点病院である大館市立総合病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

③地域がん診療連携拠点病院である秋田厚生医療センターは、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

④地域がん診療連携拠点病院である秋田赤十字病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑤地域がん診療病院である大曲厚生医療センターは、がん診療病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑥地域がん診療病院である平鹿総合病院は、がん診療病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑦地域がん診療病院である能代厚生医療センターは、がん診療病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑧地域がん診療病院である由利組合総合病院は、がん診療病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑨地域がん診療病院である雄勝中央病院は、がん診療病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑩地域がん診療病院である北秋田市民病院は、がん診療病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑪市立秋田総合病院は、がん診療連携推進病院の役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑫中通総合病院は、がん診療連携推進病院の役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑬都道府県がん診療連携拠点病院である秋田大学医学部附属病院は、県内のがん診療の連携体制の整備構築の役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 16. 秋田県でがん医療を提供するとき、専門医の不足を感じることはどの程度ありますか？

1. かなりある 2. ややある 3. あまりない 4. まったくない

問 17. 秋田県でがん医療を提供するとき、医師以外の専門的な医療従事者（がん化学療法看護認定看護師、緩和ケア認定看護師、がん薬物療法認定薬剤師、など）の不足を感じることはどの程度ありますか？

1. かなりある 2. ややある 3. あまりない 4. まったくない

問 18. あなたは、がん患者の話に耳を傾け、患者が置かれている状況を踏まえ対応していると思いますか？

1. いつも対応している 2. たいてい対応している
3. 対応していないほうが多い 4. ほとんど対応していない

問 19. あなたの施設では、緩和ケアのレベルが3年前と比較して向上したと思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 20. あなたの施設では、がん患者に対する意思決定支援が実践されていますか？

1. 十分実践されている 2. ある程度実践されている 3. あまり実践されていない
4. まったく実践されていない

問 21. あなたの担当するがん患者で、精神的痛みを含む痛みの評価を何%ぐらいの患者に実施していますか？

1. 100% 2. 75%以上 100%未満 3. 50%以上 75%未満 4. 25%以上 50%未満 5. 25%未満

問 22. あなたの担当するがん患者で、在宅医療を希望された患者のうち、在宅医療に移行した症例は何%ぐらいですか？

1. 100% 2. 75%以上 100%未満 3. 50%以上 75%未満 4. 25%以上 50%未満 5. 25%未満

問 23. 医師ががん患者とその家族に、治療の説明など必要な説明と情報を提供していますか？

1. いつもしている 2. たいていしている 3. していないほうが多い 4. ほとんどしていない

問 24. 医師以外の医療スタッフの方にお聞きします。

がん患者のケアに関して、自分の意見を医師に対して自由に言えますか？

1. 言える 2. ときどき言える 3. あまり言えない 4. 言えない

問 25. 医師の方にお聞きします。

他の医療スタッフの話に耳を傾けていますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

以上で質問は終わりです。調査にご協力いただき、ありがとうございました。

令和2年8月21日（金）までに、貴院のアンケート調査ご担当者様へお渡しください。053

沖縄県 分野別施策・指標評価表(2(1)がん医療と人材育成)

番号	C 初期アウトカム									
1	がんの標準治療ができています		基準年 (H29)	直近	結果	目標	SPO	妥当性	信頼性	
1	医療機関は集学的治療ができています	悪性腫瘍管理料 ①医療機関数 ②レセプト件数	①180 ②77,415	①199 ②81,195 (H30)	↑	↑	増加	S P	C C	C B
2	手術療法の標準治療ができています	悪性腫瘍手術の実施件数	404	更新なし			増加	P	C	B
3	放射線治療の標準治療ができています	放射線治療の実施件数	3019	更新なし			増加	P	C	B
4	適応を早期に判断し、適切な放射線治療ができています	放射線治療医を入れた会議の割合	調査中	調査中				P	C	C
5	薬物療法の標準治療ができています	外来化学療法の実施件数	1,895	更新なし			増加	P	C	B
6	科学的根拠を有する免疫療法の適切な使用ができています	オブジーボ(レセプト件数)	2,952	3,101	↑			P	B	B
追加欄										

2	適切なリハビリテーションができています									
1	早期から適切ながんリハを行う体制ができています	がんリハ料 ①医療機関数 ②レセプト件数	①20 (H27) ②3,412	①23 (R2) ②3,470 (H30)	↑	↑	増加	①S ②P	C	B
3	がんリハチームを組織できている	同上	同上	同上	同上	同上	同上	①S ②P	C	B

番号	B 中間アウトカム									
1	標準治療を受けている		基準年 (H29)	直近	結果	目標	SPO	妥当性	信頼性	
1	指標	乳がんセンチリンパ節加算1 SCR	91.1	88.8 (R1)	↓			P	B	A
2	指標	胃癌外科的切除14日退院QI	沖縄85.7 全国86.1	更新なし				P	B	B
3	指標	腹腔鏡下胃全摘術SCR	52.3	57.6 (R1)	↑			P	B	A
4	指標	乳房温存術後全乳房照射QI	沖縄80.0 全国94.2	更新なし				P	B	B
5	指標	外来放射線照射診療料SCR	57.0	59.1 (R1)	↑			P	A	A
6	指標	非小細胞肺癌非手術定位放射線療法QI	沖縄80.0 全国85.4	更新なし				P	A	B
7	指標	放射線治療管理料IMRTSCR	219.8	203.6 (R1)	↓			P	A	A
8	指標	pStage III大腸癌補助化学療法QI	全国 88.3 沖縄100	更新なし				P	A	B
9	指標	外来化学療法加算1 SCR	77.6	79.7 (R1)	↑			P	A	A
10	指標	オブジーボSCR	68.3	19.2 (R1)	↓			P	B	A
11	指標	がんリハ料SCR	133.4	123.5 (R1)	↓			P	B	A

番号	A 分野アウトカム									
1	患者本位のがん医療が受けられている		基準年 (H29)	直近	結果	目標	SPO	妥当性	信頼性	
1	指標	5年相対生存率全がん(男)	沖縄52.9 秋田75.5 全国59.1 (H18-20診断)	沖縄57.5 秋田67.7 全国62.0 (H21-23診断)	↑			O	A	B
2	指標	5年相対生存率肺(男)	沖縄24.8 秋田49.9 全国27.0 (H18-20診断)	沖縄21.4 三重41.7 全国29.5 (H21-23診断)				O	A	B
3	指標	5年相対生存率肝および肝内胆管(男)	沖縄25.4 秋田58.3 全国33.5 (H18-20診断)	沖縄28.7 鹿児島50.0 全国36.2 (H21-23診断)				O	A	B
4	指標	5年相対生存率全がん(女)	沖縄67.9 秋田75.4 全国66.0 (H18-20診断)	沖縄69.6 三重72.7 全国66.9 (H21-23診断)	↑			O	A	B
5	指標	5年相対生存率肺(女)	沖縄42.6 秋田59.4 全国43.2 (H18-20診断)	沖縄41.5 島根59.0 全国46.8 (H21-23診断)				O	A	B
6	指標	5年相対生存率肝および肝内胆管(女)	沖縄27.7 秋田47.0 全国30.5 (H18-20診断)	沖縄17.2 徳島47.6 全国35.1 (H21-23診断)				O	A	B
7	指標	5年相対生存率全がん(男女計)	沖縄60.1 最良県一 全国62.1 (H18-20診断)	沖縄63.2 三重68.8 全国64.1 (H21-23診断)	↑			O	A	B
8	指標	5年相対生存率肺(男女計)	沖縄30.1 秋田52.8 全国31.9 (H18-20診断)	沖縄27.5 長野44.9 全国34.9 (H21-23診断)				O	A	B
9	指標	5年相対生存率肝および肝内胆管(男女計)	沖縄26.1 秋田54.6 全国32.6 (H18-20診断)	沖縄25.1 徳島46.7 全国35.8 (H21-23診断)				O	A	B
10	指標	拠点病院で治療を受けたがん患者の5年生存率全がん(男女計)	沖縄57.9 (2拠点) 東京72.5 全国65.8 (H20-21診断)	沖縄63.7 (3拠点) 最良県 全国 (H21-23診断)	↑			O	A	B
11	指標	治療に納得している(問20-10)	沖縄80.2 福島93.8 全国88.1 (H26)	沖縄85.4 愛媛89.5 全国77.3 (H30)	↑			O	A	B

番号 C 初期アウトカム

1	キャンサーボードの定期開催ができています	①キャンサーボード開催の拠点病院等数 ②キャンサーボード回数	①5 (H30) ②269 (H30)	→	増加	①S ②P	①C ②B	①B ②B
2	院内の専門チームが組織され、活動できている	①栄養チームの割合 ②口腔チームの割合 ③感染チームの割合	調査中	調査中		S	C	B
追加欄	指標							

番号 B 中間アウトカム

1	指標	①栄養サボ加算SCR ②口腔管理加算SCR	①276.5 ②73.2	①224.7 ②102.1 (R1)	↗		P	B	A
2	指標	沖縄県の助成で得た専門資格者の数	確認中	確認中			S	B	B
3	指標	がん患者指導管理料イSCR	57.7 (H28)	97.1 (R1)	↗		P	B	A
4	指標	医療スタッフ間での情報共有あり(問20-7)	質問項目なし (H26)	沖縄77.3 東京78.0 全国69.1 (H30)			O	A	B
5	指標	相談しやすい医療スタッフがいた(問20-9)	質問項目なし (H26)	沖縄53.7 佐賀65.8 全国48.8 (H30)			O	A	B
6	指標	専門的な医療を受けられた(問20-8)	質問項目なし (H26)	沖縄87.2 東京88.3 全国78.7 (H30)			O	A	B
追加欄	指標	問5.異職種間で自由に意見できる雰囲気ですか？							

番号 A 分野アウトカム

6	専門的な医療従事者の育成ができています		基準年 (H29)	直近	結果	目標	SPO	妥当性	信頼性
1	専門的な医療従事者が育成できている	人口10万人当たり ①がん薬物療法専門医 ②緩和ケア認定医 ③緩和ケア専門医 ④登録精神腫瘍医 ⑤がん薬物療法認定薬剤師 ⑥がん看護専門薬剤師 ⑦がん化学療法看護認定看護師 ⑧緩和ケア認定看護師 ⑨がん専門看護師 ⑩放射線治療専門放射線技師 ⑪医学物理士 ⑫放射線治療品質管理士	調査中	①沖縄0.21 全国1.16 ②沖縄0.55 全国0.58 ③沖縄0.07 全国0.21 ④沖縄0.07 全国0.09 ⑤沖縄0.62 全国0.82 ⑥沖縄0.27 全国0.58 ⑦沖縄0.96 全国1.30 ⑧沖縄2.33 全国1.98 ⑨沖縄0.75 全国0.75 ⑩沖縄0.75 全国1.59 ⑪沖縄0.34 全国0.88 ⑫沖縄0.55 全国1.09			S	B	B
2	専門的な医療従事者の適正配置ができています	①がん化学療法看護認定看護師 ②がん放射線療法看護認定看護師 ③がん性疼痛看護認定看護師 ④がん専門薬剤師 ⑤がん治療認定医(放射線科) ⑥がん薬物療法専門医 がいる拠点病院等の数	①4 ②2 ③1 ④2 ⑤3 ⑥2	①5 ②3 ③1 ④2 ⑤3 ⑥2 (R2)	↗ ↗ → → → →	増加	S	B	B

番号 C 初期アウトカム

3	専門的な資格を取得 することができている	①沖縄県が研修費用を助成した医 療者の数 ②沖縄県が研修費用を助成した額	確認中	確認中					① S ② P	B	A
追加欄											

番号 B 中間アウトカム

追加欄	指標	問6.医師は必要 な情報を医療ス タッフ(orあなた) と共有している と思いますか？									
追加欄	指標	問7.あなたは、 必要に応じて自 分の職種以外 の役割を、補い つつ仕事をす るようつめてい ると思います か？									
追加欄	指標	問16. 沖縄県で がん医療を提供 するとき、専門 医の不足を感じ ることはどの程 度ありますか？									
追加欄	指標	問17. 沖縄県で がん医療を提供 するとき、医師 以外の専門的 な医療従事者 (がん化学療法 看護認定看護 師、緩和ケア認 定看護師、がん 薬物療法認定 薬剤師、など) の不足を感じる ことはどの程度 ありますか？									
追加欄	指標	問28. 医師の方 にお聞きしま す。他の医療ス タッフの話を傾 けていますか？									
追加欄	指標										

番号 A 分野アウトカム

7	インフォームドコンセント及び セカンドオピニオンができています	基準年 (H29)	直近	結果	目標	SP O	妥 当 性	信 頼 性
---	------------------------------------	--------------	----	----	----	---------	-------------	-------------

3	適切な意思決定支 援を受けられている	基準年 (H29)	直近	結果	目標	SP O	妥 当 性	信 頼 性
---	-----------------------	--------------	----	----	----	---------	-------------	-------------

番号 C 初期アウトカム

1	インフォームドコンセントができています	がん患者指導管理料イ ①医療機関数 ②レセプト件数	11 1,419 (H27)	①12 ②2,494 (H30)	↑	増加	①S ②P	①C ②B	①C ②B
2	セカンドオピニオンができています	①SOの医師を提示している拠点病院等の数 ②SO数	①6 (H28) ②調査中	①5(宮古含む場合は6)(R1) ②調査中	①→ ②	増加 増加	①S ③P	①C ②B	①C ②B
追加欄									

8	アドバンス・ケア・プランニングができています	基準年(H29)	直近	結果	目標	SPO	妥当性	信頼性	
1	医師はアドバンス・ケア・プランニングができています	アドバンスケアプランニングをした件数	調査中	調査中			P	B	C
2	拠点病院等はアドバンス・ケア・プランニングができています	コミュニケーションマニュアル整備の拠点病院等の数	1 (H28)	2(拠点のみ)(R2)	↑	増加	S	B	C
追加欄									

番号 B 中間アウトカム

1	治療に関する十分な情報を得られた(問15-1)	沖縄81.9 愛媛94.3 全国89.1 (H26)	沖縄71.4 長野83.1 全国75.0 (H30)	↘			O	A	B
2	セカンドオピニオンについて話があった(問13)	沖縄44.2 山形56.7 全国40.3 (H26)	沖縄28.4 宮城48.0 全国34.9 (H30)	↘			O	A	B
3	セカンドオピニオンを受けた(問14)	質問項目なし (H26)	沖縄22.3 福島37.6 全国19.5 (H30)				O	A	B
4	インフォームドコンセントを受けた患者の割合	沖縄83.8 全国84.5 (H30)	沖縄83.8 (補正值) 全国83.4 (補正值) (H30)	→	増加		O	A	B
5	セカンドオピニオンを受けた患者の割合	沖縄44.2 全国40.3 (H30)	更新なし		増加		O	A	B
追加欄	問8.あなたの担当するがん患者で、治療方針(告知等)の説明の際に、医師以外の職種も参加している割合は何%ぐらいですか。								
追加欄	問18.あなたは、がん患者の話に耳を傾け、患者が置かれている状況を踏まえ対応していると思いますか？								
追加欄	問20.あなたの施設では、がん患者に対する意思決定支援が実施されていますか？								
追加欄	問26.医師ががん患者とその家族に、治療の説明など必要な説明と情報を提供していますか？								

番号 A 分野アウトカム

番号	C 初期アウトカム
----	-----------

番号	B 中間アウトカム
----	-----------

番号	A 分野アウトカム
----	-----------

追加欄	指標								
追加欄	指標								

分野別施策・指標評価表 2(2)医療提供体制

番号 C 初期アウトカム

番号	内容	指標	基準年 (H29)	直近	結果	目標	SPC	妥当性	信頼性
1	患者が適切な医療機関で受診できるよう、医療機関情報を周知する								
1	拠点病院等は情報を集約し患者等に周知できている	①おきなわがんサポートハンドブックの配布数 ②地域の療養情報の配布数 ③沖縄県在宅緩和ケアマップの更新回数	①NA ②NA ③1回	①20,549 (R2) ②19,687 (R2) ③17回 (R2)	↗		P	C	B
追加欄		指標							

番号	内容	指標	基準年 (H29)	直近	結果	目標	SPC	妥当性	信頼性	
2	医療機関間の情報共有を図り、その情報に基づいた医療機関相互の紹介を行う体制ができている									
1	医療機関に関する情報を医療機関間で共有できている	①院内がん登録報告書の県内医療機関への配布数	①256	①248	↘			P	C	B
2	機能に応じた紹介を行う体制ができている	①沖縄県在宅緩和ケアマップの更新回数 ②医療部会および離島・へき地部会で検討した回数 ③緩和ケア・在宅医療部会で検討した回数	①1回 ②0 (H30) ③0 (H29)	①17回 (R2) ②7 (R2) ③0 (R2)	↗			P	C	B

番号 B 中間アウトカム

番号	内容	指標	基準年 (H29)	直近	結果	目標	SP	妥当性	信頼性	
1	正しい情報と医療連携のもと、患者が適切な医療機関を受診できている									
1	病院から診療所・在宅医療へ移った際、病院での診療方針が診療所・訪問看護ステーションへ円滑に引き継がれたと思われましたか？(H26体験調査問14)		沖縄69.3 栃木81.2 全国72.7 (H26)	質問項目なし (H30)		増加	O	A	B	
2	成人問20-12 紹介先の医療機関を支援なく受診できたと思う人(転院したことがある人)		質問項目なし (H26)	沖縄80.9 長野100 全国82.5 (H30)			O	A	B	
3	成人問20-13 希望通りの医療機関に転院することができた人(転院したことがある人)		質問項目なし (H26)	沖縄85.7 兵庫97.5 全国79.2 (H30)			O	A	B	
1	NDB-SCR ①がん治療連携計画策定料1 ②がん治療連携指導料 ③がん治療連携管理料 1拠点病院 2診療病院		①49.8 17.5 35.1 ②151.7 ③-1 NA ③-2 NA	①NA ②114.6 ③-1 NA ③-2 NA (H31)	↘			P	B	A
追加欄	問9.がん医療を行っていくうえで、他の医療機関との連携に困る感がありますか？									
追加欄	問10.専門医療機関に対してがん患者を紹介したときに受け入れてもらえますか？									

番号 A 分野アウトカム

番号	内容	指標	基準年 (H29)	直近	結果	目標	SP	妥当性	信頼性
1	適切な医療連携に基づく医療を受けられている								
1	5年相対生存率全がん(男女計)		沖縄60.1 最良県一 全国62.1 (H18-20診断)	沖縄63.2 三重68.8 全国64.1 (H21-23診断)	↗	増加	O	A	B
2	5年相対生存率大腸(男女計)		沖縄64.7 秋田85.5 全国71.1 (H18-20診断)	沖縄70.7 三重76.9 全国71.4 (H21-23診断)	↗	増加	O	A	B
3	5年相対生存率肺(男女計)		沖縄30.1 秋田52.8 全国31.9 (H18-20診断)	沖縄27.5 長野44.9 全国34.9 (H21-23診断)	↘	増加	O	A	B
4	5年相対生存率肝および肝内胆管(男女計)		沖縄26.1 秋田54.6 全国32.6 (H18-20診断)	沖縄25.1 徳島46.7 全国35.8 (H21-23診断)	↘	増加	O	A	B
5	5年相対生存率全がん(男)		沖縄52.9 秋田75.5 全国59.1 (H18-20診断)	沖縄57.5 秋田67.7 全国62.0 (H21-23診断)	↗	増加	O	A	B
6	5年相対生存率大腸(男)		沖縄63.5 秋田84.5 全国72.2 (H18-20診断)	沖縄70.2 秋田79.3 全国72.4 (H21-23診断)	↗	増加	O	A	B

番号 C 初期アウトカム

3	地域連携クリティカルパスが推進できている	①がん治療連携計画策定料1 ②がん治療連携指導料 ③がん治療連携管理料 1拠点病院 2診療病院	①44 ②1,721 (H28) ③-1 140 (H27) ③-2 —	①10 ②1,851 ③-1 26 ③-2 26	↘	↗					S	P	B	B
追加欄														

3	身近な医療機関で経過観察が行える体制ができている		基準年 (H29)	直近	結果	目標	SPC	妥当性	信頼性	
1	身近な医療機関で経過観察できる体制ができている	拠点病院等から、地域の医療機関へ患者を紹介した件数	調査中	調査中				P	C	B
2	(再掲)地域連携クリティカルパスが推進できている	①地域連携クリティカルパスに基づく診療計画策定等実施件数(レセプト件数) ②地域連携クリティカルパスに基づく診療提供等実施件数(レセプト件数)	①57 ②1852	①29 (H30) ②1864 (H30) (??年に廃止?)	↘	↗		S	B	B
追加欄										

番号 B 中間アウトカム

追加欄	指標	問11.他院へがん患者を紹介した際に、その後の経過について紹介先医療機関から情報提供がありますか？											
追加欄	指標	問12.他院からがん患者が紹介されてきた際に、その後の診療を継続するのに患者にとって十分な情報が紹介元医療機関から提供されていますか？											
追加欄	指標	問13.より専門的な医療機関へがん患者を紹介するときに、どの医療機関に紹介するかを決めるための情報が足りないと感じることはありますか？											
追加欄	指標	問14.がん患者を定期的なフォローアップのために紹介するとき、どの医療機関に紹介するかを決めるための情報が足りないと感じることはありますか？											
追加欄	指標												

番号 A 分野アウトカム

7	指標	5年相対生存率肺(男)	沖縄24.8 秋田49.9 全国27.0 (H18-20診断)	沖縄21.4 三重41.7 全国29.5 (H21-23診断)	↘	↗	増加	O	A	B
8	指標	5年相対生存率肝および肝内胆管(男)	沖縄25.4 秋田58.3 全国33.5 (H18-20診断)	沖縄28.7 鹿児島50.0 全国36.2 (H21-23診断)	↗	↘	増加	O	A	B
9	指標	5年相対生存率全がん(女)	沖縄67.9 秋田75.4 全国66.0 (H18-20診断)	沖縄69.6 三重72.7 全国66.9 (H21-23診断)	↗	↘	増加	O	A	B
10	指標	5年相対生存率大腸(女)	沖縄 66.7 秋田 82.1 全国 59.6 (H18-20診断)	沖縄 69.5 三重 74.4 全国 70.1 (H21-23診断)	↗	↘	増加	O	A	B
11	指標	5年相対生存率肺(女)	沖縄42.6 秋田59.4 全国43.2	沖縄41.5 島根59.0 全国46.8 (H21-23診断)	↘	↗	増加	O	A	B
12	指標	5年相対生存率肝および肝内胆管(女)	沖縄27.7 秋田47.0 全国30.5 (H18-20診断)	沖縄17.2 徳島47.6 全国35.1 (H21-23診断)	↘	↗	増加	O	A	B
13	指標	5年相対生存率全がん(男女計)	沖縄60.1 最良県一全国62.1 (H18-20診断)	沖縄63.2 三重68.8 全国64.1 (H21-23診断)	↗	↘	増加	O	A	B

番号 C 初期アウトカム

5	県は拠点病院の機能強化を図るための必要な支援ができています		基準年 (H29)	直近	結果	目標	SPC	妥当性	信頼性
1	県は拠点病院の機能強化を図るために必要な支援ができています	指標	43,749千円	41,310千円 (R2)	↘			P	B B
	追加欄	指標							

6	がん診療提供体制の充実・強化ができています		基準年 (H29)	直近	結果	目標	SPC	妥当性	信頼性
1	がん診療連携協議会の活用ができて、診療連携体制の充実・強化ができています	指標	6	0 (R2)	↘			S	B B
2	拠点病院等の適正な整備ができています	指標	①3 ②3	①3 ②3 (R3)	→	維持		S	C B

番号 B 中間アウトカム

2	拠点病院の機能が充実している		基準年 (H29)	直近	結果	目標	SP	O	妥当性	信頼性
1	成人問34 ゲノム医療を知っている患者の割合	指標	質問項目なし (H26)	沖縄12.5 千葉25.0 全国17.0 (H30)					O	A B
2	成人問33 臨床試験とは何かを知っている人	指標	沖縄NA 最良NA 全国44.2 (H26)	沖縄48.7 京都50.9 全国39.7 (H30)					O	A B
3	パネル検査の結果、新たな治療が見つかった患者の数	指標	0人 (R1)	5人 (R2)	↗				O	B B
4	琉球大学病院で発表された英語の論文数	指標	NA	115 (R2)					P	B B
5	免疫チェックポイント阻害薬 (NDB-SCR) ①キイトルーダ (2017-18年) ②テセントリク (2018-19年) ③イミフィンジ (2018-19年) ④パベンチオ (2017-18年)	指標	①55.0 50.9 52.0 (2017)	①110.0 53.5 64.7 (2018)	↗ ↗				P	C B
6	琉球大学病院で臨床試験等に参加した患者数	指標	調査中 (H29)	調査中 (R2)					O	B B

番号 A 分野アウトカム

14	指標	5年相対生存率 肺(男女計)	沖縄30.1 秋田52.8 全国31.9 (H18-20診断)	沖縄27.5 長野44.9 全国34.9 (H21-23診断)	↘	増加	O	A B	
15	指標	5年相対生存率 肝および肝内胆管(男女計)	沖縄26.1 秋田54.6 全国32.6 (H18-20診断)	沖縄25.1 徳島46.7 全国35.8 (H21-23診断)	↘	増加	O	A B	
16	指標	拠点病院で治療を受けたがん患者の5年生存率全がん(男女計)	沖縄57.9 (2拠点) 東京72.5 全国65.8 (H20-21診断)	沖縄63.7 (3拠点) 最良県 全国 (H21-23診断)	↗	増加	O	A B	
17	指標	治療に納得している(問20-10)	沖縄80.2 福島93.8 全国88.1 (H26)	沖縄85.4 愛媛89.5 全国77.3 (H30)	↗			O	A B
18	指標	評価が高い割合(8~10点の人)(問23)	質問項目なし (H26)	沖縄70.5 愛媛75.3 全国70.5 (H30)				O	A B
19	指標	総合的な評価の平均点(0~10点)(問23)	質問項目なし (H26)	沖縄8.4 愛媛8.5 全国8.0 (H30)				O	A B
	追加欄	指標							

番号 **C 初期アウトカム**

1	がんゲノム医療 ができています	指標	がんゲノムプロ ファイリング検査 (結果説明時)(レ セプト件数)	1件 (R2)	25件 (R3.4~9)	↗			P	B	B
2	県は研究を推 進、協力及び支 援ができています	指標	沖縄県が、研究 のために拠出し た予算の総額	0件 (H29)	1件 500万円 (R2)	↗			P	C	B
3	国内で承認され た薬剤や医療機 器がすみやかに 使用ができてい る	指標	承認月と琉球大 学病院における 利用可能日との タイムラグ ①キイトルーダ 100mg ②テセントリク 1200mg 840mg ③イミフィンジ 500mg 120mg ④バベンテオ 200mg		①8ヶ月 ②5ヶ月 5ヶ月 ③2ヶ月 2ヶ月 ④8ヶ月				S	C	C
4	臨床試験に参加 ができています	指標	琉球大学病院で 承認された試験 数	調査中	調査中				S	C	B
追 加 欄		指 標									

番号 **B 中間アウトカム**

番号 **A 分野アウトカム**

ロジックモデル 分野3「緩和ケア・在宅医療」(たたき台)

番号	C 個別施策	
	個別施策	指標
1	外来初診時および入院時に、看護師による「痛み」のスクリーニングを行い、その後は必要な医療を行う	①外来初診時および入院時に、看護師による「痛み」のスクリーニングが行われたがん患者の割合 ②前述の「痛み」のスクリーニングの結果を、看護師が、主治医(主治医チーム)に報告が行われたがん患者の割合 ③「痛み」のスクリーニングの結果報告を受けて、主治医(主治医チーム)が速やかに必要な緩和ケアが行われたがん患者の割合 ④「痛み」のスクリーニングの結果を受けての緩和ケアが主治医(主治医チーム)では充分行えない場合に、主治医(主治医チーム)から速やかに緩和ケアチームに紹介が行われたがん患者の割合
2	外来患者は毎回の受診時に、入院患者は毎日、看護師による「痛み」のモニタリングを行い、その後は必要な医療を行う	①外来患者は毎回の受診時に、入院患者は毎日、看護師による「痛み」のモニタリングが行われたがん患者の割合 ②前述の「痛み」のモニタリングの結果を、看護師が、主治医(主治医チーム)に報告が行われたがん患者の割合 ③「痛み」のモニタリングの結果報告を受けて、主治医(主治医チーム)が速やかに必要な緩和ケアが行われたがん患者の割合 ④「痛み」のモニタリングの結果を受けての緩和ケアが主治医(主治医チーム)では充分行えない場合に、主治医(主治医チーム)から速やかに緩和ケアチームに紹介が行われたがん患者の割合
3	身体的な痛みに対して、早期から積極的に対応する	①がん性疼痛緩和指導管理料の件数 ②がん性疼痛緩和指導管理料NDB-SCR
4	精神的な痛みに対して、早期から積極的に対応する	①がん患者指導管理料口の件数 ②がん患者指導管理料口NDB-SCR

番号	C 個別施策	
	個別施策	指標
5	リンクナースと連携を取り、積極的に緩和ケアチームが介入する	①緩和ケア診療加算の件数 ②緩和ケア診療加算NDB-SCR ③外来緩和ケア管理料の件数 ④外来緩和ケア管理料NDB-SCR
6	病棟ごとに、緩和ケアチームと担当医チーム、リンクナース、病棟看護師等と定期的にカンファランスを行う	①定期的にカンファランスを行っている病棟の割合

番号	B 中間アウトカム	
1	すべての患者が適切な緩和ケアを受けるために、医療機関は組織化した緩和ケアを提供している	
1	指標	①外来初診時および入院時に、看護師による「痛み」のスクリーニングが行われたがん患者のうち、痛みがなくなった患者の割合 ②外来患者は毎回の受診時に、入院患者は毎日、看護師による「痛み」のモニタリングが行われたがん患者のうち、痛みがなくなった患者の割合
2	指標	患者体験調査 ①医療スタッフと十分な対話できた人(成人問20-3) ②医療スタッフが耳を傾け理解しようとしてくれていたと思う人(成人問20-4) ③つらい症状にはすみやかに対応してくれたと思う人(成人問20-6) ④受診時に必ず痛みの有無について聞かれた人(成人問21) ⑤身体的なつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できると思う人(成人問35-5) ⑥心のつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できると思う人(成人問35-6)
3	指標	問19あなたの施設では、緩和ケアのレベルが3年前と比較して向上したか
		問21あなたの担当するがん患者で、精神的痛みを含む痛みの評価を何%ぐらいの患者に実施しているか
4	指標	

2	専門的な緩和ケアを提供できる人材とチームが整っている	
4	指標	患者体験調査

番号	A 分野アウトカム	
1	患者やその家族の痛みやつらさが緩和され、生活の質が向上し、望む場所で療養生活を送ることができている	
1	指標	①身体的な痛みがなくなった患者の割合 ②精神的な痛みがなくなった患者の割合
2	指標	患者体験調査 ①現在自分らしい日常生活を送れていると感じる人(成人問35-7) ②身体の苦痛や気持ちのつらさを和らげる支援は十分であると感じる人(成人問36-1) ③がんやがん治療に伴う身体の苦痛がないと感じる人(成人問36-2) ④がんや治療に伴う痛みがないと感じる人(成人問36-3) ⑤がんやがん治療に伴い気持ちがつらくないと感じる人(成人問36-4) ⑥がんやがん治療に伴う身体の苦痛や気持ちのつらさにより、日常生活を送る上で困っていることがない人(成人問36-5)
3	指標	医療者調査

7	緩和ケアチームに必要な人材をそろえる ①緩和医療学会専門医または認定医 ②日本サイコオンコロジー学会認定登録精神腫瘍医 ③がん専門看護師、緩和ケア認定看護師、またはがん性疼痛看護認定看護師 ④がん専門薬剤師または緩和薬物療法認定薬剤師 ⑤公認心理師	以下の専門家が、緩和ケアチームに所属しているか ①緩和医療学会専門医または認定医 ②日本サイコオンコロジー学会認定登録精神腫瘍医 ③がん専門看護師、緩和ケア認定看護師、またはがん性疼痛看護認定看護師 ④がん専門薬剤師または緩和薬物療法認定薬剤師 ⑤公認心理師
---	---	--

	個別施策	指標
8	緩和ケアにおける連携協力に関するカンファレンスを毎月開催する	①カンファレンスの開催回数
9	ホスピス病棟を希望する終末期の患者を、確実にホスピス病棟に転床、転院させる	①ホスピス病棟を希望する終末期の患者のうち、実際にホスピス病棟に転床、転院できた割合

	個別施策	指標
10	在宅医療の連携協力に関するカンファレンスを毎月開催する	①カンファレンスの開催回数
11	在宅医療を希望する終末期の患者を、確実に在宅医療に移行させる	①在宅医療を希望する終末期の患者のうち、実際に在宅医療に移行できた割合

5	指標	問27. 医師以外の医療スタッフの方にお聞きします。がん患者のケアに関して、自分の意見を医師に対して自由に言えますか？
---	----	---

3	患者に切れ目のない医療・ケアが提供されている	
6	指標	患者体験調査
7	指標	医療者調査

4	希望する患者の在宅医療への移行が、充分に行われている	
8	指標	患者体験調査
9	指標	問25あなたの担当するがん患者で、在宅医療を希望された患者のうち、在宅医療に移行した症例は何%ぐらいか

分野別施策・指標評価表(離島及びへき地)

番号	C 初期アウトカム
----	-----------

1	診療病院は拠点病院と連携し、標準治療を提供できている	基準年 (H29)	直近	結果	目標	SPO	妥当性	信頼性
1	診療病院は5大がんの標準治療ができている 指標 地域がん診療病院数(施設数)	3	3	→	維持	S	C	C
2	5大がん以外の拠点病院等との連携体制を整備できている 指標							
追加欄	指標							

2	地域連携クリティカルパスを適切に運用できている	基準年 (H29)	直近	結果	目標	SPO	妥当性	信頼性
1	診療病院は地域連携クリティカルパスを推進できている 指標 ①地域連携クリティカルパスに基づく診療計画策定等実施件数 ②地域連携クリティカルパスに基づく診療提供等実施件数(レセプト件数)	①0 ②2-18	①0 ②1-9 (H30)	↘	増加	P	B	B
追加欄	指標							

番号	B 中間アウトカム
----	-----------

1	診療病院で標準治療ができている	基準年 (H29)	直近	結果	目標	SPO	妥当性	信頼性
1	がん治療連携計画策定料1(入院+外来) ①レセプト件数 ②SCR	①57 ②35.1	①56 ②NA (R1)	↘		P P	B B	B B
2	がん治療連携指導料(入院+外来) ①レセプト件数 ②SCR	①1867 ②151.7	①1851 ②114.6 (R1)	↘		P P	B B	B B
3	がん治療連携管理料1(拠点病院)(入院+外来) ①レセプト件数 ②SCR	①22 ②NA	①26 ②NA (R1)	↗		P	B	B
4	がん治療連携管理料2(診療病院)(入院+外来) ①レセプト件数 ②SCR	①20 ②NA (H30)	①26 ②NA (R1)	↗		P	B	B
5	初診から確定診断までが1ヶ月未満の人(問10)	質問項目なし (H26)	沖縄72.7 山口80.3 全国71.5 (H30)			O	A	B
6	確定診断から治療開始までが1ヶ月未満の人(問11)	沖縄55.3 福島73.7 全国58.2 (H26)	沖縄66.4 石川70.2 全国62.2 (H30)	↗		O	A	B
7	専門的な医療を受けられたと思う人(問20-8)	質問項目なし (H26)	沖縄87.2 東京88.3 全国78.7 (H30)			O	A	B
8	紹介先を支援なく受診できた人(問20-12)	質問項目なし (H26)	沖縄80.9 長野100 全国82.5 (H30)			O	A	B

番号	A 分野アウトカム
----	-----------

1	患者本位のがん医療が受けられている	基準年 (H29)	直近	結果	目標	SPO	妥当性	信頼性
1	5年相対生存率全がん(男)	沖縄52.9 最良県-- 全国59.1 (H18-20 診断)	沖縄57.5 最良県-- 全国62.0 (H21-23 診断)	↗		O	A	B
2	5年相対生存率肺(男)		沖縄21.4 全国29.5 (H21-23 診断)			O	A	B
3	5年相対生存率肝および肝内胆管(男)		沖縄28.7 全国36.2 (H21-23 診断)			O	A	B
4	5年相対生存率全がん(女)	沖縄67.9 最良県-- 全国66.0 (H18-20 診断)	沖縄69.6 最良県-- 全国66.9 (H21-23 診断)	↗		O	A	B
5	5年相対生存率肺(女)		沖縄41.5 全国46.8 (H21-23 診断)			O	A	B
6	5年相対生存率肝および肝内胆管(女)		沖縄17.2 全国35.1 (H21-23 診断)			O	A	B
7	5年相対生存率全がん(男女計)	沖縄60.1 最良県-- 全国62.1 (H18-20 診断)	沖縄63.2 最良県-- 全国64.1 (H21-23 診断)	↗		O	A	B
8	5年相対生存率肺(男女計)		沖縄27.5 全国34.9 (H21-23 診断)			O	A	B

番号 C 初期アウトカム

3	離島及びへき地のがん患者に対する情報支援ができています	基準年 (H29)	直近	結果目標	SP O	妥当性	信頼性
1	県内で実施できる治療内容について情報提供ができています 指標 地域がん診療病院の相談件数(件)	4070 (H30)	4910 (R2)	増加	P	C	B
2	二次医療圏で実施できる治療内容について情報提供ができています 指標						
3	情報を毎年調査、医療機関と共有、ウェブサイト公開、冊子の無料配布ができています 指標						
追加欄	指標						

番号 B 中間アウトカム

9	指標 希望通りの転院ができた人(問20-13)	質問項目 なし (H26)	沖縄85.7 兵庫97.5 全国79.2 (H30)			O	A	B
追加欄	指標 問22. 離島に居住しているがん患者が、適切な医療を受けていると思いますか？							
追加欄	指標 問23. 現在離島でがん医療に従事している方、または過去に離島でがん医療に従事した方にお聞きします。離島に居住しているがん患者のうち、より専門的な医療機関へ紹介したい場合、大きな支障なく紹介できた症例は何%ぐらいですか？							
追加欄	指標 問24. 現在本島でがん医療に従事している方、または過去に本島でがん医療に従事した方にお聞きします。離島に居住しているがん患者のフォローアップのために、地域の医療機関へ紹介したい場合、大きな支障なく紹介できた症例は何%ぐらいですか？							
追加欄	指標							

番号 A 分野アウトカム

9	指標 5年相対生存率 肝および肝内胆管(男女計)	沖縄25.1 全国35.8 (H21-23 診断)				O	A	B
10	指標 拠点病院で治療を受けたがん患者の5年生存率 全がん(男女計)	沖縄57.9 最良県 全国 (H20-21 診断)	沖縄63.7 最良県 全国 (H21-23 診断)	↗		O	A	B
11	指標 治療に納得している(問20-10)	沖縄80.2 福島93.8 全国88.1 (H26)	沖縄85.4 愛媛89.5 全国77.3 (H30)	↗		O	A	B
12	指標 見通しに関する情報を十分得られた(問20-1)	沖縄81.9 愛媛94.3 全国89.1 (H26)	沖縄83.3 大分86.4 全国75.1 (H30)	↗		O	A	B
13	指標 評価が高い割合(8~10点の人)(問23)	質問項目 なし (H26)	沖縄70.5 愛媛75.3 全国70.5 (H30)			O	A	B
14	指標 総合的な評価の平均点(0~10点)(問23)	質問項目 なし (H26)	沖縄8.4 愛媛8.5 全国8.0 (H30)			O	A	B

番号 C 初期アウトカム

番号	指標	基準年 (H29)	直近	結果目標	SP	妥当性	信頼性
4	離島及びへき地のがん患者の渡航費等の支援ができています						
1	離島及びへき地のがん患者に渡航費及び宿泊費の支援ができています 指標 沖縄県離島患者等支援事業実施市町村数	14	18	↗	増加	S	B B
2	拠点病院の近くに宿泊施設の整備ができています 指標						
追加欄	指標						

番号 B 中間アウトカム

番号	指標	基準年 (H29)	直近	結果目標	SP	妥当性	信頼性
2	正しい情報を基に、患者が自ら選択した医療機関で受診できている						
1	治療スケジュールの見通しを十分得ることができた人(問20-1) 指標	沖縄81.9 愛媛94.3 全国89.1 (H26)	沖縄83.3 大分86.4 全国75.1 (H30)	↗		O	A B
2	金銭的負担が原因で生活影響があった人(問19) 指標	質問項目なし (H26)	沖縄37.1 新潟16.2 全国26.9 (H30)			O	A B
3	治療費用のために治療を変更または断念したことがある人(問18) 指標	沖縄4.0 秋田0.0 全国2.7 (H26)	沖縄4.0 神奈川11.0 全国4.9 (H30)	→		O	A B
4	がん治療のため、退職・廃業した人(問29) 指標	質問項目なし (H26)	沖縄23.7 栃木11.1 全国19.8 (H30)			O	A B
5	がん治療のため、退職・休業した人(問29) 指標	質問項目なし (H26)	沖縄60.3 高知29.8 全国54.2 (H30)			O	A B
追加欄	指標						

番号 A 分野アウトカム

番号	指標	結果目標	SP	妥当性	信頼性
15	がん医療は進歩した(問30-1) 指標	沖縄75.1 岡山89.1 全国80.1 (H26)	沖縄78.5 熊本84.9 全国76.3 (H30)	↗	O A B
追加欄	指標				